



BMW Motorrad



駆けぬげる歓び

Rider's Manual
R 1200 GS

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMWの世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

お問い合わせ

モーターサイクルについて疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 49 8 558 963



目次

1 一般的な情報	5	フューエルリザーブ容量	39	走行モード	66
全体図	6	オイルレベル注意	39	クルーズコントロール	70
記号と意味	6	サービス表示	40	スプリングプリロード	72
装備	7	タイヤ充填圧	40	ショックアブソーバー	73
テクニカルデータ	7	シフトアップ推奨	41	ダイナミック ESA (電子調 整式サスペンション)	74
本書の記述について	7	4 取扱方法	43	クラッチ	76
2 全体図	9	イグニッション	44	ブレーキ	77
左側面	11	Keyless Ride によるイグ ニッション	46	タイヤ	77
右側面	13	マルチファンクションディ スプレイ	51	ハンドルバー	78
シート下	14	盗難警報装置 (DWA)	57	グリップヒーター	78
左コンビネーションス イッチ	15	イグニッションキルス イッチ	59	ミラー	79
右コンビネーションス イッチ	17	ヘッドライト	60	ウインドシールド	79
メーターパネル	18	ライト	61	フロントおよびリヤシ ート	80
3 表示	19	デイルイト	62	5 走行	83
警告灯 / インジケータ	20	ウインカー	63	安全に関する注意事項	84
マルチファンクションディ スプレイ	22	ハザードランプ	64	チェックリスト	86
ディスプレイの警告記号	24	BMW Motorrad Integral ABS	64	始動	87
警告表示	25	オートマチックスタビリティ コントロール (ASC)	65	慣らし走行	89
外気温度	38			ギヤチェンジ	90
				ブレーキ	90
				駐車する	91

オフロード走行	92	フロントホイールス		10 テクニカルデータ	157
給油	93	タンク	124	トラブルシュー	
モーターサイクルを搬送用		バルブ	126	ティング	158
に固定する	96	エアフィルター	131	ネジ止め部	159
6 技術情報	99	始動補助	132	エンジン	161
走行モード	100	バッテリー	134	燃料	162
シフトアシスト	101	ヒューズ	137	エンジンオイル	163
ブレーキシステム		8 アクセサリー	139	クラッチ	164
(BMW Motorrad Integral		一般的な情報	140	ギヤボックス	164
ABS 装備)	102	電源ソケット	140	リヤホイールドライブ	165
エンジンマネジメントシ		ナビゲーションシス		サスペンション	165
ステム (BMW Motorrad		テム	141	ブレーキ	167
ASC 装備)	105	ケース	146	ホイールとタイヤ	168
タイヤ空気圧コントロール		トップケース	149	電装システム	169
(RDC)	107	9 お手入れ	153	フレーム	170
7 メインテナンス	109	ケア用品	154	盗難警報装置	171
一般的な情報	110	洗車	154	寸法	171
ツールキット	110	損傷しやすい車両部品の		重量	172
エンジンオイル	111	お手入れ	155	性能	172
ブレーキシステム	112	塗装のお手入れ	156	11 サービス	173
クーラント	116	モーターサイクルの長期		リサイクリング	174
クラッチ	118	保管	156	BMW Motorrad サー	
リムとタイヤ	118	保護コーティング	156	ビス	175
ホイール	119	再使用	156	BMW Motorrad モバイル	
				サービス	176

メンテナンス作業	176
点検記録	177
一般整備記録	182
12 付録	185
検査済み証	186
13 索引	189

一般的な情報

全体図	6
記号と意味	6
装備	7
テクニカルデータ	7
本書の記述について	7

全体図

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、このモーターサイクルについての概要から知りたい場合は、第2章をご覧ください。第11章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味



ライダーとその周囲の人々の安全のため、また、製品を損傷から守るために、必ず注意すべき警告を示します。



モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

- ◀ 注意事項の末尾を示します。
- 作業内容の指示を示します。
- » 作業の結果を示します。
- ➡ 説明のある参照ページを示します。
- ◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様（諸元）。

- OE オプション装備。
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。
- OA アクセサリー。
BMW Motorrad アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。
- EWS 電子式イモビライザー。
- DWA 盗難警報装置
- ABS アンチロックブレーキシステム。

ASC オートマチックスタビリティコントロール (ASC)

ESA Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション)。

RDC タイヤ空気圧コントロール

装備

お客様のBMW Motorradのご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択したアクセサリー (OA) について説明されています。そのため、あなたのモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモ-

ーターサイクルと異なる場合があります。

お客様のモーターサイクルに、本書に説明されていない装備が含まれている場合は、独立したマニュアルの中に説明が記載されています。

テクニカルデータ

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのよう

な誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

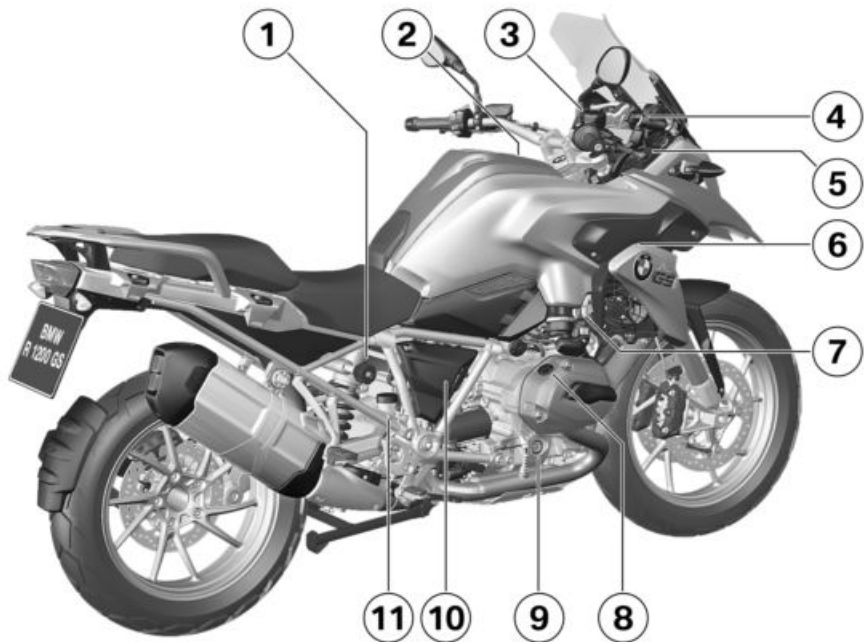
全体図

左側面	11
右側面	13
シート下.....	14
左コンビネーションスイッチ.....	15
右コンビネーションスイッチ.....	17
メーターパネル.....	18



左側面

- 1 - デイライト^{OE} 装備
デイライト (▶▶▶▶ 62)
- 2 フューエル注入口 (▶▶▶▶ 94)
- 3 シートロック (▶▶▶▶ 80)
- 4 リヤショックアブソーバー
の調整 (スプリングストラット下) (▶▶▶▶ 73)

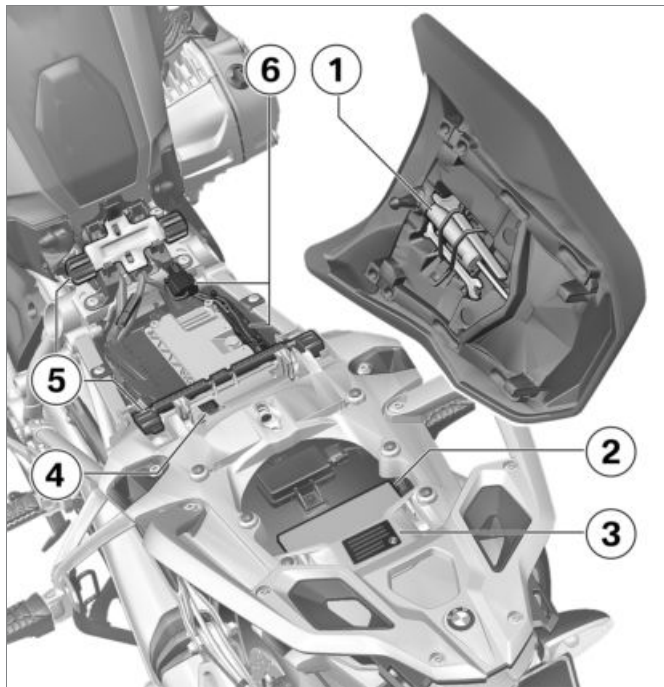


右側面

- 1 リヤスプリングプリロードの調整 (▶▶▶ 72)
- 2 エアフィルター (センターフェアリングの下) (▶▶▶ 131)
- 3 フロントブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶ 114)
- 4 ウインドシールドの高さ調整 (▶▶▶ 79)
- 5 電源ソケット (▶▶▶ 140)
- 6 車両識別番号 (ステアリングヘッドベアリングのところ)
型式プレート (右フロントフレーム)
- 7 クーラントレベル表示 (▶▶▶ 116)
クーラントタンク (▶▶▶ 116)
- 8 オイル注入口 (▶▶▶ 112)
- 9 エンジンオイルレベル表示 (▶▶▶ 111)
- 10 バッテリー (サイドフェアリングの後ろ) (▶▶▶ 134)
バッテリーサポートポイント (サイドフェアリングの後ろ) (▶▶▶ 132)
- 11 リヤブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶ 115)

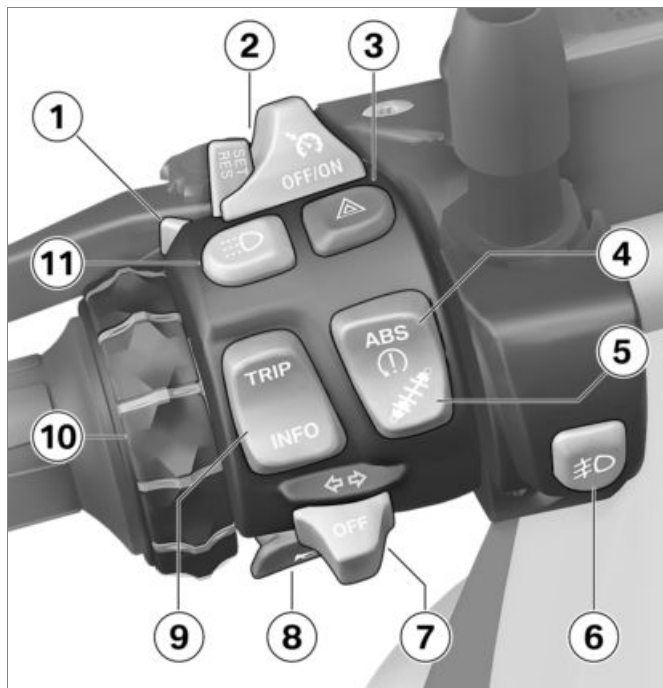
シート下

- 1 標準スペシャルツールキット (▶▶▶ 110)
- 2 Rider's Manual
- 3 タイヤ充填圧表
- 4 積載荷重一覧
- 5 フロントシート高さの設定 (▶▶▶ 81)
- 6 ヒューズ (▶▶▶ 137)



左コンビネーションスイッチ

- 1 ハイビームヘッドライトとパッシングライト (⇒ 61)
- 2 -クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (⇒ 70)
- 3 ハザードランプ (⇒ 64)
- 4 ABS (⇒ 64)
ASC (⇒ 65)
- 5 - Dynamic ESA^{OE} 装備
ESA (⇒ 74)
- 6 -LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
LED 補助ヘッドライト (⇒ 61)
- 7 ウィンカー (⇒ 63)
- 8 ホーン
- 9 マルチファンクションディスプレイ (⇒ 51)



- 10 - ナビゲーションシステム用取り付けキット^{OE} 装備
ナビゲーションシステム (▶▶▶ 142)
- 11 - デイライト^{OE} 装備
デイライト (▶▶▶ 62)

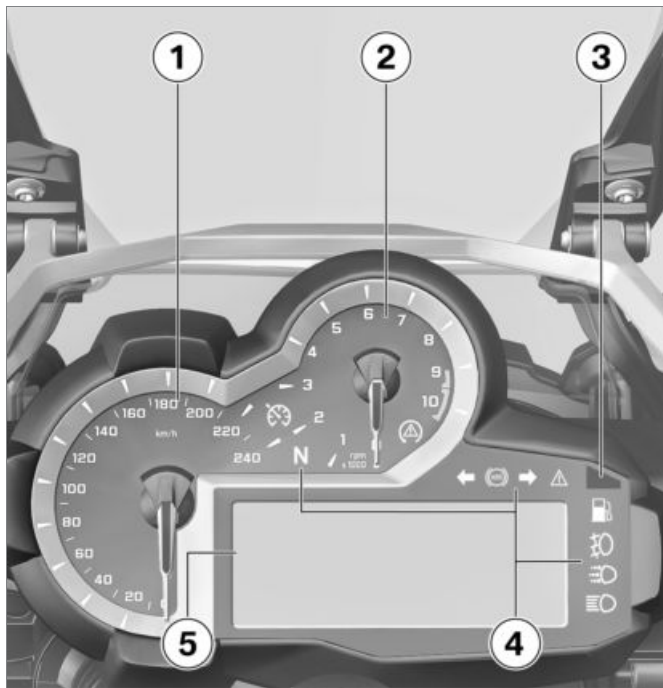
右コンビネーションスイッチ

- 1 - グリップヒーターOE
装備
グリップヒーター (▶▶▶ 78)
- 2 走行モード (▶▶▶ 66)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 59)
- 4 エンジンを始動する (▶▶▶ 87)



メーターパネル

- 1 スピードメーター
- 2 エンジン回転数表示
- 3 周囲輝度センサー（メーターパネルライトの輝度調整用）
- 盗難警報装置^{OE} 装備
DWA 警告灯
- キーレスライド^{OE} 装備
無線キー用インジケータ
- 4 警告灯 / インジケータ
ー (▶▶ 20)
- 5 マルチファンクションディスプレイ (▶▶ 22)

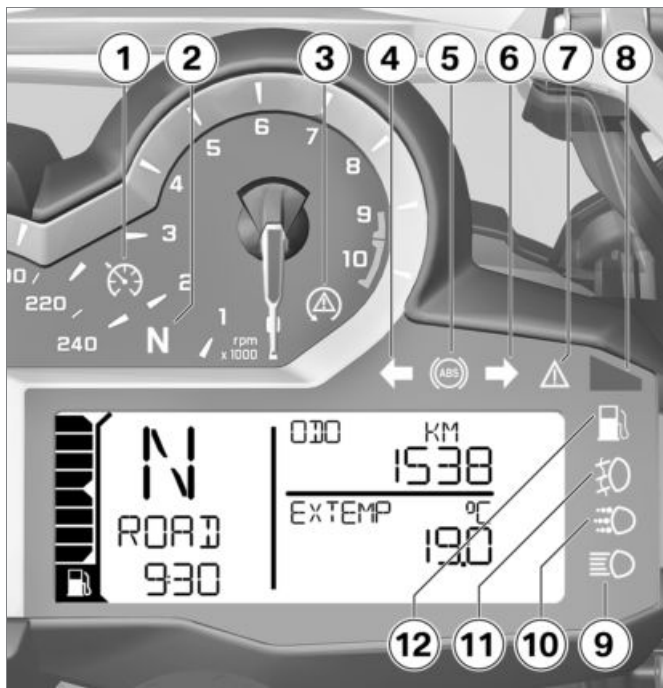


表示

警告灯 / インジケーター	20
マルチファンクションディスプレイ	22
ディスプレイの警告記号	24
警告表示	25
外気温度	38
フューエルリザーブ容量	39
オイルレベル注意	39
サービス表示	40
タイヤ充填圧	40
シフトアップ推奨	41

警告灯 / インジケーター

- 1 クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (▶▶ 70)
- 2 ニュートラル位置 (アイドルリング)
- 3 ASC (▶▶ 65)
- 4 左側ウインカー
- 5 ABS (▶▶ 64)
- 6 右側ウインカー
- 7 ジェネラル警告灯 (ディスプレイ内の警告マークとの組み合わせによる) (▶▶ 25)
- 8 DWA
- 盗難警報装置^{OE} 装備
アラーム (▶▶ 58)
無線キー用インジケーター
- キーレスライド^{OE} 装備
キー (▶▶ 46)
- 9 ハイビームヘッドライト (▶▶ 61)
- 10 - デイライト^{OE} 装備
デイライト (▶▶ 62)



マルチファンクションディスプレイ

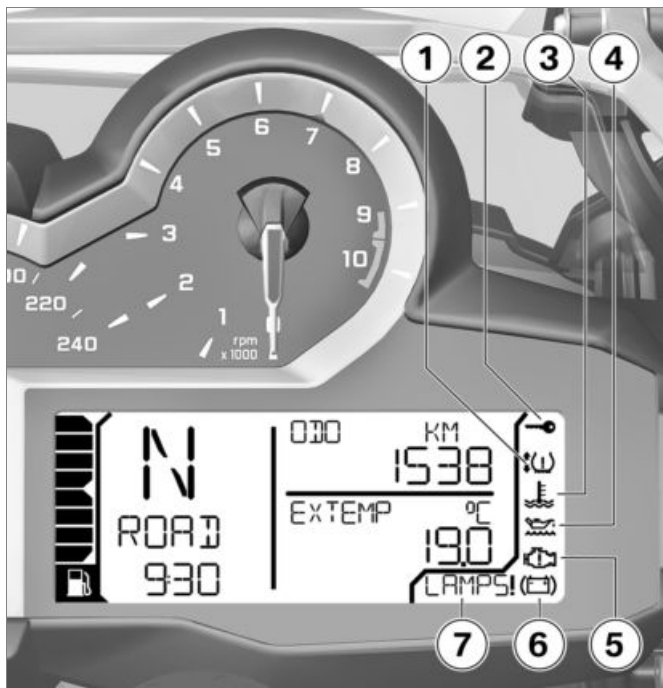
- 1 フューエルレベル
- 2 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 41)
- 3 ギヤインジケーター、ニュートラル位置で「N」(アイドリング) が表示される
- 4 - デイライト^{OE} 装備
オートマチックデイライト (▶▶▶ 62)
- 5 - グリップヒーター^{OE} 装備
グリップヒーターレベル (▶▶▶ 78)
- 6 オドメーターとトリップメーター (▶▶▶ 51)
- 7 サービス表示 (メンテナンススケジュール) (▶▶▶ 175)
- 8 警告アイコン (▶▶▶ 25)
- 9 オンボードコンピューター - Dynamic ESA^{OE} 装備
ESA 調整 (▶▶▶ 74)



- 11 走行モード (▶▶▶▶ 66)
- 12 時計 (▶▶▶▶ 54)
- 13 路面凍結警告 (▶▶▶▶ 38)

ディスプレイの警告記号

- 1 - タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備
タイヤ充填圧 (⇒ 33)
- 2 EWS (⇒ 30)
- 3 冷却水温警告灯 (⇒ 31)
- 4 エンジンオイルレベル (⇒ 38)
- 5 エンジン電装 (⇒ 31)
- 6 バッテリー充電 (⇒ 134)
- 7 警告 (⇒ 25)



警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。



専用の警告灯のない警告は、ジェネラル警告灯 **1** と、**2** エリアの警告マークまたは **3** エリアの警告マークとの組み合わせにより表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。













以降のページに警告表示の一覧があります。

警告表示一覧








警告灯 / インジケーター

ディスプレイの警告記号



意味

			が表示される	路面凍結警告 (▶▶▶ 30)
	点灯する (黄)		が表示される	EWS 作動 (▶▶▶ 30)
	点灯する (黄)		が表示される	無線キーが受信範囲外 (▶▶▶ 30)
	点灯する (黄)			無線キーのバッテリーを交換する (▶▶▶ 31)
	点灯する (赤)		が表示される	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶ 31)
	点灯する (黄)		が表示される	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 31)
	点灯する (黄)		!LAMP_ が表示される	バルブの不具合 (▶▶▶ 32)
			!LAMPF が表示される	

警告灯 / インジケーター ディスプレイの警告記号 意味

		DWALO !が表示される	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 32)
	点灯する (黄)	DWA !が表示される	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 33)
	点灯する (黄)	 が矢印 (1 本または 2 本) と共に表示され、さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。	タイヤ充填圧が許容限界域にある (▶▶▶ 33)
	点滅する (赤)	 が矢印 (1 本または 2 本) と共に表示され、さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。	タイヤ充填圧が許容範囲外にある (▶▶▶ 33)
	点灯する (黄)	 が矢印 (1 本または 2 本) と共に表示されます。	センサーの故障またはシステムエラー (▶▶▶ 34)
		「--」または「-- --」が表示されます。	

警告灯 / インジケーター ディスプレイの警告記号 意味

		「--」または「-- --」が表示されます。	伝送障害 (▶▶▶ 34)
	点灯する (黄)	RDC! が表示されます。	タイヤ充填圧センサーのバッテリーが弱い (▶▶▶ 35)
	点滅する		ABS 自己診断が終了していません (▶▶▶ 35)
	点灯する		ABS の故障 (▶▶▶ 35)
	点灯する		ABS が OFF になっている (▶▶▶ 36)
	素早く点滅する		ASC 介入 (▶▶▶ 36)
	ゆっくりと点滅する		ASC-自己診断が終了していません (▶▶▶ 36)
	点灯する		ASC が OFF になっている (▶▶▶ 36)
	点灯する		ASC の故障 (▶▶▶ 36)

路面凍結警告



氷結アイコンが表示されます。

考えられる原因：



モーターサイクル付近
で測定された外気温度 <

約 3 °C



路面凍結警告には、測定温度 3 °C を越える路面であっても凍結の可能性があるということが含まれています。

外気温度が低い場合、特に橋の上や陰になった暗い路面では、凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀

- よく注意して走行してください。

EWS 作動



ジェネラル警告灯（黄）
が点灯します。



EWS 警告マークが表示されます。

考えられる原因：

使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の交信が妨げられています。

- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。
- スペアキーを使用します。
- 故障したキーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

無線キーが受信範囲外

—キーレスライド OE 装備



ジェネラル警告灯（黄）
が点灯します。



が表示されます。

考えられる原因：

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。
- キーレスライド OE 装備
- 無線キーのバッテリーを交換する(▶▶ 50)。
- それ以上走行する場合には、スペアキーを使用します。
- キーレスライド OE 装備
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失(▶▶ 49)。
- 走行中に警告マークが表示された場合も、落ち着いてください。走行は続行できます。エンジンは停止しません。
- 故障した無線キーはBMW Motorrad ディーラーで交換してください。

無線キーのバッテリーを交換する



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



バッテリーアイコンが表示されます。

考えられる原因：

- 無線キーのバッテリーがフル充電になりません。無線キーの機能が保証されるのは、限られた時間内のみです。
- キーレスライド^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリーを交換する(▶▶▶ 50)。

クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。



温度アイコンが表示されます。



オーバーヒートした状態で走行すると、エンジン

の損傷を招くおそれがあります。必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因：

- クーラントレベルが低すぎます。
- クーラントレベルを点検します(▶▶▶ 116)。
- クーラントレベルが低すぎる場合：
- BMW Motorrad ディーラーにクーラントの補給とクーラントシステムの点検を依頼してください。

考えられる原因：

- クーラント温度が高すぎます。
- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad ディー

ラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



エンジンアイコンが表示されます。




エンジンはエマージェンシーモードで作動します。通常と異なる走行特性になることがあります。走行スタイルを調整してください。著しい加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因：

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。


バルブの不具合

 ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

!LAMP_が表示されます。

- !LAMPR: ブレーキライト、テールライト、リヤウインカーまたはライセンスプレートランプが故障しています。
- !LAMPF: ロービーム、ハイビームヘッドライト、スモールライトまたはフロントウインカーが故障しています。
- !LAMPS: 複数バルブの故障

- デイライト^{OE} 装備
- !LAMPF: 補足: デイライト故障◀

 車両の照明バルブの故障は危険です。車両が他の走行車両などから見えにくくなるからです。故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:


- 1 個または複数のバルブが故障しています。
- 故障しているバルブを目視点検により特定します。
- ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する(▶▶ 126)。
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する(▶▶ 128)。
- LED ヘッドライトの交換(▶▶ 131)。

- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(▶▶ 129)。
- LED テールライトを交換する(▶▶ 130)。
- LED ウインカーを交換する(▶▶ 130)。

DWA バッテリーが弱っている

- 盗難警報装置^{OE} 装備

DWALO !が表示されます。

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

- DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。
- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

– 盗難警報装置^{OE} 装備



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

DWA !が表示されます。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check（走行前点検）の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因：

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

• BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

タイヤ充填圧が許容限界域にある

– タイヤ空気圧コントロール（RDC）^{OE} 装備



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



タイヤ記号（1 本または 2 本の矢印付き）が表示されます。さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。

上向き矢印はフロントホイールの充填圧の問題を示し、下向き矢印はリヤホイールの充填圧の問題を示しています。

考えられる原因：

測定されたタイヤ充填圧が許容限界域にあります。

• Rider's Manual 裏表紙の記載に従って、タイヤ充填圧を調整します。



タイヤ充填圧を調整する前に、「技術情報」の章にある温度補正および充填圧の調整に関する情報を参照してください。◀

タイヤ充填圧が許容範囲外にある

– タイヤ空気圧コントロール（RDC）^{OE} 装備



ジェネラル警告灯（赤）が点滅します。



タイヤ記号（1 本または 2 本の矢印付き）が表示されます。さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。



タイヤ充填圧が許容範囲外にある場合、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼします。走行スタイルを適宜調整してください。◀

上向き矢印はフロントホイールの充填圧の問題を示し、下向き矢印はリヤホイールの充填圧の問題を示しています。


考えられる原因：


測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態か点検します。

タイヤがまだ使用可能な状態の場合：

- できるだけ早く、タイヤ充填圧を修正します。


 タイヤ充填圧を調整する前に、「技術情報」の章にある温度補正および充填圧の調整に関する情報を参照してください。◀


 オフロードモードでは、RDC 警告メッセージを OFF にすることができます。◀

- BMW Motorrad ディーラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。
- タイヤの走行性に関して安全が確認できない場合：
 - 走行を続けしないでください。
 - エマージェンシーサービスに知らせます。

センサーの故障またはシステムエラー

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備

 ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

 タイヤ記号（1 本または 2 本の矢印付き）が表示されます。

「--」または「-- --」が表示されます。

考えられる原因：

RDC センサー非装備のホイールが装着されています。

- RDC センサー付きホイールセットを後付けします。

考えられる原因：

1 つまたは 2 つの RDC センサーが故障しているか、またはシステムエラーが発生しています。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

伝送障害

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備

「--」または「-- --」が表示されます。

考えられる原因：

車両が最小速度に達していませんでした (▶▶ 107)。



RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超過した後初めて、RDC センサーは信号を車両に発信します。)

- RDC 表示を、高速走行時に点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因：

RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。原因としては、周辺に無線機器 / システム類があり、これらが RDC コントロールユニットとセンサー間の接続を妨害している、ということが考えられます。

- RDC 表示を、別の環境 / 状況で点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ充填圧センサーのバッテリーが弱い

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

RDC! が表示されます。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因：

タイヤ充填圧センサーのバッテリーがフル充電されていません。タイヤ充填圧コントロール機能が保証されるのは、ご限定された時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していません



ABS 警告灯が点滅します。

考えられる原因：



ABS 自己診断が終了していません

自己診断が終了しなかったため、ABS は使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS の故障



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因：

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のあ

る特別な状況についての、詳細な情報をご確認ください(▶▶▶ 104)。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS が OFF になっている



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因：

ABS システムは、ライダーにより OFF にされました。

- ABS 機能を ON にします。

ASC 介入



ASC 警告灯が素早く点滅します。

ASC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。警告灯は、ASC 介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた

旨のフィードバック表示を目にすることができます。

ASC-自己診断が終了していません



ASC 警告灯がゆっくと点滅します。

考えられる原因：



ASC 自己診断が終了していません

自己診断が終了しなかったため、ASC は使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： min 5 km/h)

- ゆっくと発進します。数 m 走行後、ASC 警告灯は消灯します。
- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

ASC 警告灯が点滅し続けます。

ASC が OFF になっている



ASC 警告灯が点灯します。

考えられる原因：

ASC システムは、ライダーにより OFF にされました。

- ASC 機能を ON にします。

ASC の故障



ASC 警告灯が点灯します。


考えられる原因：

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。ASC の故障を引き起こしうる状況についての、詳細な情報をご確認ください(▶▶▶ 106)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディー

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンオイルレベルが低すぎる

 オイルタンクアイコンが表示されます。

OILLVL CHECK が表示されません。

考えられる原因：

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。次の燃料補給時に：

- エンジンオイルレベルを点検する(▶ 111)。


オイルレベルが低すぎる場合：


- エンジンオイルを補充する(▶ 112)。


オイルレベルが正常な場合：

- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

バッテリー充電電圧が不十分


 ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。

 バッテリーアイコンが表示されます。

 バッテリーの放電は、ライト、エンジン、ABS などのさまざまな車両システムの故障につながります。これにより、危険な走行状態が発生するおそれがあります。

走行を続けしないでください。◀

バッテリーが充電されていません。走行を続けると、車両の電子機器がバッテリーを放電します。

 12V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合（ジャンプスタートの場合など）、オルタネーターレギュレーター（電圧調整器）のヒューズが溶断するおそれがあります。◀

考えられる原因：

オルタネーターまたはオルタネータードライブが故障、またはオルタネーターレギュレーター（電圧調整器）用ヒューズが溶断。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

外気温度

停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、一時的に-- が表示されます。



外気温度が 3℃ 以下の場合、路面凍結のおそれがあります。この温度を最初に下回った時点で、ディスプレイ設定の状態にかかわらず自動的に外気温度表示 1 に切り替わり、表示された値が点滅します。



さらに氷結アイコン 2 が表示されます。



路面凍結警告には、測定温度 3℃ を越える路面であっても凍結の可能性があるということが含まれています。外気温度が低い場合、特に橋の上や陰になった暗い路面では、

凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀

フューエルリザーブ容量

燃料残量警告灯の点灯時に燃料タンク内に残っている燃料の量は、走行ダイナミクスに左右されます。タンク内の燃料が激しく動くほど（傾きの頻繁な変化、頻繁な減速および加速による）、リザーブ容量の測定は困難になります。この理由から燃料残量を正確に示すことはできません。



燃料残量警告灯を ON にすると、自動的に走行可能距離が表示されます。

このリザーブ容量で走行できる距離は、運転スタイル（燃費）と警告灯の点灯時点でまだ使用可能な燃料の量に左右されます（前の説明を参照）。給油後に燃料の量がリザーブ容量より多くなると、燃料残量用の距離計はリセットされます。

オイルレベル注意



オイルレベル注意 1 では、エンジンオイルレベルに関する情報が提供されます。停車しているときのみ、呼び出しができます。

オイルレベル注意には、以下の条件が満たされている必要があります。

- エンジンが作動温度に達していること
- エンジンを 10 秒間以上アイドリングさせていること
- サイドスタンドが格納されていること

ー モーターサイクルが平坦な場所に真っ直ぐに立っていること。

表示の意味：

OK: オイルレベルは正常です。

CHECK: 次回の燃料補給時にオイルレベルを点検してください。

---: オイルレベルを測定できません（前述の条件が満たされていません）。



オイルレベルを点検する必要がある場合は、オイルレベルが正常だと検知されるまで、アイコン **2** が表示されます。

サービス表示



次回サービスまでの期間が1カ月以内、または次回サービスが1000 km 以内に実施予定の場合には、サービス時期 **1** および残余走行距離 (km) **2** が Pre-Ride-Check (走行前点検) に続いて短時間表示されます。



サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さらにジェネラル警告灯が黄色く点灯します。サービス表示はずっと表示され続けます。



サービス期日まで1ヶ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、メーターパネルに設定されている日付を調整する必要があります。この症状は、バッテリーが長時間外されたままのときに発生することがあります。


日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀


タイヤ充填圧

ー タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



左の数値 **1** はフロントホイールの充填圧を、右の数値 **2** はリアホイールの充填圧を示しています。イグニッションが ON にするとただちに、「-- --」が表示されます。タイヤ圧値の伝送は、速度が 30 km/h を超えた後に、初めて開始されます。表示されるタイヤ圧はタイヤ内の空気温度 (20°C) と関連しています。

 さらにアイコン **3** が表示される場合には、警告に関わる問題です。タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。

 該当する値が許容限界域にある場合には、さらにジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にある場合は、ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。

BMW Motorrad RDC に関する詳細な情報は、(▶▶▶ 107) ページ以降をご覧ください。

シフトアップ推奨

シフトアップ推奨は必ずディスプレイ設定で ON にします (▶▶▶ 52)。



シフトアップ推奨 **1** はシフトアップに経済的に最良の時点で信号伝達します。

取扱方法

イグニッション.....	44	クルーズコントロール.....	70
Keyless Ride によるイグニッション	46	スプリングプリロード.....	72
マルチファンクションディスプレイ	51	ショックアブソーバー.....	73
盗難警報装置 (DWA)	57	ダイナミック ESA (電子調整式サスペンション)	74
イグニッションキルスイッチ.....	59	クラッチ.....	76
ヘッドライト	60	ブレーキ.....	77
ライト	61	タイヤ	77
デイライト	62	ハンドルバー	78
ウインカー	63	グリップヒーター	78
ハザードランプ.....	64	ミラー	79
BMW Motorrad Integral ABS	64	ウインドシールド	79
オートマチックスタビリティコントロール (ASC)	65	フロントおよびリヤシート	80
走行モード	66		

イグニッション

キー

イグニッションキーは 2 本あります。

キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (▶▶ 46) に関する注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

ーケース OA 装備

ートップケース OA 装備

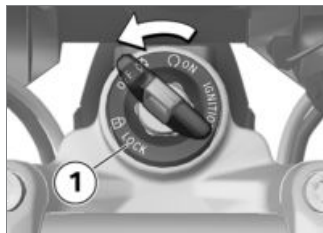
ご要望により、ケースおよびトップケースも車両キーで操作するようにできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ステアリングロックをロックする

! モーターサイクルをサイドスタンドで立てた場合、ハンドルバーを左右のどちらに回すのがよいかは、路面状態によって異なります。ただし平坦な路面では、ハンドルバーを左に回したほうが、右に回した場合よりもモーターサイクルが安定します。

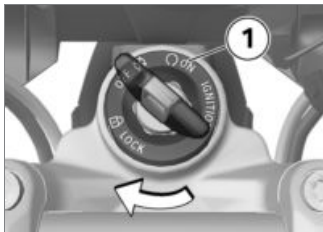
平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。◀

- ハンドルバーを左または右に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション **1** に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。
- » キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする



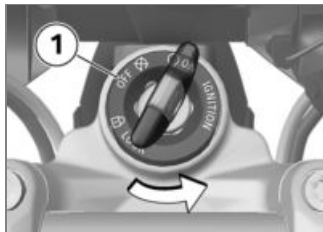
- キーをイグニッションロックに挿入し、ポジション **1** に回します。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 87)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 88)
- » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 88)

ウェルカムライト

- LED ヘッドライト^{OE} 装備
- デイライト^{OE} 装備
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

- イグニッションを ON にします。
- » スモールライトが短時間点灯します。
- デイライト^{OE} 装備
- » デイライトが短時間点灯します。◁
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
- » LED 補助ヘッドライトが短時間点灯します。◁

イグニッションスイッチを OFF にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
- » イグニッションのスイッチをオフにすると、メーターパネルはもう少しの間 ON のままで、場合により故障メッセージを表示します。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。

» キーを抜き取ることができません。

- デイライト^{OE} 装備

- LED ヘッドライト^{OE} 装備

• イグニッションを OFF にした後、短時間でデイライトが消灯します。◀

- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

• イグニッションを OFF にした後、短時間で LED 補助ヘッドライトが消灯します。◀

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。

▶ その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラー

からのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

Keyless Ride によるイグニッション

- キーレスライド^{OE} 装備

キー

▶ 無線キーをサーチしている間は、無線キー用インジケーターが点滅します。

無線キーまたはスペアキーが検知されると、消灯します。

無線キーまたはスペアキーが検知されない場合には、短時間点灯します。◀

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (▶▶ 46) に関する注意事項に従ってください。

イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケースは手動で操作することができます。

▶ 無線キーが手に届く範囲がないと（ケース内またはトップケース内など）、車両を始動することはできません。また、集中ロックシステムをロックする / ロック解除することはできません。

走行可能距離を超過すると、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になり、集中ロックシステムのロックが**行われません**。

無線キーを身に付けておく（ジャケットのポケットなど）か、またはスペアキーを携行することをお勧めします。◀



Keyless Ride の走行可能距離無線キー

— キーレスライド^{OE} 装備

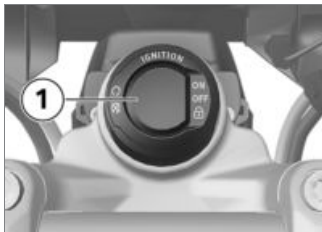


Keyless Ride の走行可能距離無線キー

約 1 m<

ステアリングロックをロックする

前提条件：ハンドルバーが左または右方向に回っている状態。無線キーは受信範囲内です。



モーターサイクルをサイドスタンドで立てた場合、ハンドルバーを左右のどちらに回すのがよいかは、路面状態によって異なります。ただし平坦

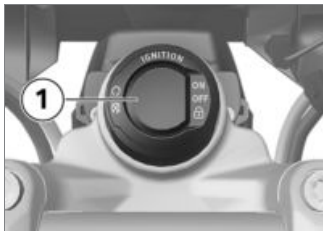
な路面では、ハンドルバーを左に回したほうが、右に回した場合よりもモーターサイクルが安定します。

平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。◀

- ボタン **1** を押し続けます。
» ステアリングロックが音をたててロックします。
» イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短押しします。

イグニッションを ON にする

前提条件：無線キーが受信エリア内にある。



- イグニッションは以下の 2 つの方法で作動させることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- デイライト^{OE} 装備
- LED ヘッドライト^{OE} 装備
- » デイライトが ON になります。
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
- » LED 補助ヘッドライトが ON になります。

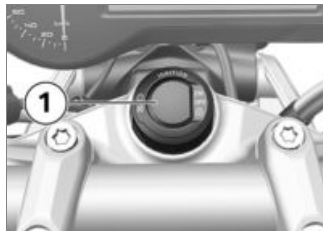
- » Pre-Ride-Check が実行されま
- す。(▶▶ 87)
- » ABS 自己診断が実施されま
- す。(▶▶ 88)
- » ASC 自己診断が実施されま
- す。(▶▶ 88)

バリエーション 2:

- ステアリングロックがロックされ
- ます。ボタン **1** を押し続け
- ます。
- » ステアリングロックがロック解
- 除されます。
- » パーキングライトとすべての電
- 気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されま
- す。(▶▶ 87)
- » ABS 自己診断が実施されま
- す。(▶▶ 88)
- » ASC 自己診断が実施されま
- す。(▶▶ 88)

イグニッションスイッチを OFF にする

前提条件：無線キーが受信エリア内にある。



- イグニッションは以下の 2 つの方法で作動解除することができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除され
- ます。

バリエーション 2:

- ハンドルバーを左または右に
- 回します。
- ボタン **1** を押し続けます。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックがロックさ
- れます。

電子式エンジン始動ロックシステムEWS

モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、無線キーに内蔵されているデータを確認します。無線キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。

▶ その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用無線キーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。

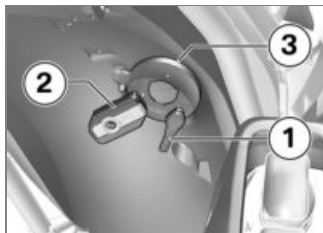
スペアキーは必ず無線キーとは別に保管してください。◀

無線キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となった無線キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった無線キーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。無線キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。


無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失



- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (**EWS**) に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。
- 無線キーのバッテリーが空になっている場合には、リヤフェンダーに無線キーを接触させることにより車両を始動させることができます。

- スペアキー **1** または空の無線キー **2** を、リヤフェンダーのところでアンテナ **3** の高さで保持します。

▶ スペアキーまたは空の無線キーが、リヤフェンダーに**しっかりと接して**いなければなりません。◀

 エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s


- ▶ Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。
- キーが検知されました。
- エンジンを始動することができません。
- エンジンを始動する(▶▶▶ 87)。

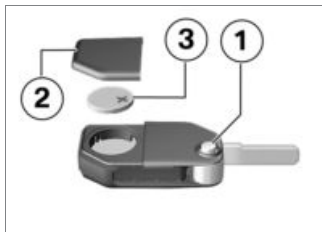
無線キーのバッテリーを交換する

無線キーが、ボタンを短押しまたは長押ししても反応しない場合：

- バッテリーがフル充電になりません。


▶ バッテリーを交換します。

 バッテリーアイコンが表示されます。




- ボタン **1** を押します。
- ▶ キーの歯部分が開きます。
- バッテリーカバー **2** を押し上げます。

- バッテリー **3** を取り外します。
- 取り外した既存のバッテリーを法的規定に従って処分します。バッテリーは家庭ゴミの中に入れて捨てないでください。

 不適切なバッテリーや極性の誤りによって、ユニットが破損することがあります。規定のバッテリーを使用してください。バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。◀

- 新品のバッテリーをプラスターミナルを上に向けて組み込みます。

 バッテリータイプ

Keyless Ride 用無線キー

CR 2032

- バッテリーカバー **2** を取り付けます。

- » メーターパネルで LED (赤) が点滅します。
- » リモートコントロールは再び待機状態になっています。

マルチファンクションディスプレイ

表示を選択する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- ボタン **1** を短時間操作し、上側ディスプレイ行の表示 **2** を選択します。

標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

- 総走行距離 (ODO)
- トリップメーター 1 (TRIP I)
- トリップメーター 2 (TRIP II)
- 走行可能距離 (RANGE)
- SETUP メニュー (SETUP)、停車時のみ

- オンボードコンピューター Pro^{OE} 装備

以下のインフォメーションはオンボードコンピューター Pro と補足として表示されます：

- オートマチックオドメーター / トリップメーター (TRIP A)
- 瞬間燃料消費量 (CONS C)
- 瞬間速度 (SPEED)◀



- ボタン **1** を短時間操作し、下側ディスプレイ行の表示 **2** を選択します。

標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

- 外気温度 (EXTEMP)
- エンジン温度 (ENGTMP)
- 平均燃費 1 (CONS 1)
- 平均燃費 2 (CONS 2)
- 平均速度 (Ø SPEED)

- タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備
- タイヤ充填圧 (RDC) ◀

- 日付 (DATE)
- オイルレベル注意 (OILLVL)
- オンボードコンピューター Pro^{OE} 装備
- ボードエレクトリック電源電圧 (VOLTGE)◀
- オンボードコンピューター Pro^{OE} 装備
- ストップウォッチの合計時間 (ALTIME)◀
- オンボードコンピューター Pro^{OE} 装備
- ストップウォッチの走行時間 (RDTIME)◀

トリップメーターをリセットする

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- ボタン **1** を、リセットするオドメーターとトリップメーターが上部ディスプレイ行 **2** に表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

平均値をリセットする

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- ボタン **1** を、リセット平均値が下部ディスプレイ行 **2** に表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

機能をコンフィグレーションします

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- ボタン **1** を上部ディスプレイ行 **2** にSETUP ENTER が表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- ボタン **1** を長く操作して、SETUP メニューをスタートさせます。
- » ディスプレイの以下の表示は選択した装備に応じて異なります。



- ボタン **1** を短時間操作し、次のメニューオプションに切り替えます。
 - » 上側ディスプレイ欄 **2** にメニューオプションが表示されます。
 - » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
 - ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- 以下のメニューオプションを選択することができます：
- 盗難警報装置^{OE} 装備
 - DWA: 盗難警報装置を ON にする (ON) または OFF にする (OFF) ◀

- ナビゲーションシステム用取り付けキット^{OE} 装備
- GPS TM: ナビゲーションシステムが取り付けられている場合：GPS 時間およびGPS 日付を引き継ぐ (ON) または引き継がない (OFF) ◀
- CLOCK: 時計の調整
- DATE: 日付の設定
- ECOSFT: シフトアップ推奨をディスプレイに表示する (ON) または表示しない (OFF)
- BRIGHT: ディスプレイ輝度を設定する、ノーマル (0) からブライツ (5)
- デイライト^{OE} 装備
- DLIGHT: オートマチックデイライトを ON にする (ON) または OFF にする (OFF) ◀
- EXITSETUP メニューを終了する
- オンボードコンピューター Pro^{OE} 装備
- BC CUSTOM: 表示の個別化を開始します。◀



- SETUP メニューを終了するには、メニューオプションSETUP EXIT でボタン **1** を長く操作します。
- SETUP メニューを任意の個所で終了するには、ボタン **2** を長く操作します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(➡ 45)。

⚠ 走行中に時計を調整すると、事故につながるおそれがあります。

時計の調整は、必ずモーターサ

イクルを停止させた状態で行ってください。◀

- SETUP メニューでメニューオプションSETUP CLOCK を選択します。



- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に時間 **3** を点滅させます。

▶ クロックディスプレイの代わりに「—:—」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断されています(例えば、バッテリーの接続が外れたことによる)。◀

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に分 **3** を点滅させます。
- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- 分が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
- » 設定は終了しています。
- 調整を任意の個所で中止するには、初期値が再度表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。

▶ 設定を終える前にスタートすると、設定は中止されません。◀

日付設定

- イグニッションを ON にする(➡ 45)。

- SETUP メニューでメニューオプションSETUP DATE を選択します。



- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に日 **3** を点滅させます。

▶ 日付の代わりに「—.—.—」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断されています(例えば、バッテリーの接続が外れたことによる)。◀

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。

- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に月 **3** を点滅させます。

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。

- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に年 **3** を点滅させます。

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。

- 年が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
» 設定は終了しています。

- 調整を任意の個所で中止するには、初期値が再度表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。

▶ 設定を終える前にスタートすると、設定は中止されません。◀

ディスプレイをパーソナライズする

— オンボードコンピューター Pro^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。

パーソナライズメニューでは、どのインフォメーションをどのディスプレイ行に表示させるのかを調整することができます。

- SETUP メニューでメニューオプションSETUP BC BASIC を選択します。



- 個別化メニューを開始するため、ボタン **1** を短時間操作します。
- » SETUP BC CUSTOM が表示されます。
- 個別化メニューを終了するため、ボタン **1** を再び短時間操作します。

▶ SETUP BC BASIC が選択されると、初期設定が再度有効になります。パーソナライズCUSTOM は保存されている。◀



- ボタン **1** を長く操作して、最初のメニューオプションを表示します。
- » SETUP BC ODO が表示されます。



- ボタン **2** を短時間操作し、次のメニューオプションに切り替えます。
- » 上側ディスプレイ欄 **3** にメニューオプションが表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **4** に設定した値が表示されます。以下の値を調整することができます。
- TOP: 値が上側ディスプレイ欄に表示されます。
- BELOW: 値が下側ディスプレイ欄に表示されます。
- BOTH: 値は両方のディスプレイ行に表示されます。

- OFF: 値は表示されません。
 - ボタン **1** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- 以下のメニューオプションを選択することができます。括弧の中には初期設定が書かれています。メニューオプションの中には、オプション装備品がある場合のみ表示されるものもあります。
- ODO: オドメーター (TOP、設定OFF はできません)
 - TRIP 1: トリップメーター 1 (TOP)
 - TRIP 2: トリップメーター 2 (TOP)
 - TRIP A: オートマチックトリップメーター (TOP)
 - EXTEMP: 外気温度 (BELOW)
 - ENGTMP: エンジン温度 (BELOW)
 - RANGE: 走行可能距離 (TOP)
 - CONS R: 走行可能距離計算の平均燃費 (OFF)

- CONS 1: 平均燃費 1 (BELOW)
- CONS 2: 平均燃費 2 (BELOW)
- CONS C: 瞬間燃料消費量 (TOP)
- ØSPEED: 平均速度 (BELOW)
- SPEED: 瞬間速度 (TOP)
- RDC: タイヤ充填圧 (BELOW)
- VOLTGE: ボードエレクトリック電源電圧 (BELOW)
- ALTIME: ストップウォッチの合計時間 (BELOW)
- RDTIME: ストップウォッチの走行時間 (BELOW)
- DATE: 日付 (BELOW)
- SERV T: 次回サービスの日付 (OFF)
- SERV D: 次回サービスまでの残余走行距離 (OFF)
- OILLVL: オイルレベル注意 (BELOW)
- EXIT: 個別化メニューを終了します。



- パーソナライズメニューを終了するには、メニューオプションSETUP EXIT でボタン **1** を長く操作します。
 - パーソナライズメニューを任意の個所で終了するには、メニューオプションでボタン **2** を長く操作します。
- » これまで行った設定はすべて保存されます。

盗難警報装置 (DWA)

- 盗難警報装置^{OE} 装備

作動

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。
- DWA を調整します(▶▶▶ 59)。
- イグニッションを OFF にします。
- ▶ DWA が ON の場合、DWA はイグニッション OFF の後に自動的に ON になります。
- ▶ 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- ▶ ウインカーが 2 回点灯します。
- ▶ 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- ▶ DWA は作動状態です。

アラーム

アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正なキーによるイグニッション ON
- 車両バッテリーからの DWA の取り外し (DWA バッテリー

が電源供給。アラーム音のみ、ウインカーの点灯なし)。

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒間です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類は BMW Motorrad ディーラーに調整させることができます。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA 表示灯がアラーム原因について 1 分間、信号を発信します。

点滅信号数の意味：

- 1 回点滅：モーションセンサー 1
- 2 回点滅：モーションセンサー 2
- 3 回点滅：不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が取り外されている
- 5 回点滅：モーションセンサー 3

作動解除

- イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
- イグニッションを ON にします。
- ▶ ウインカーが 1 回点灯します。
- ▶ 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- ▶ DWA は OFF の状態です。

DWA を調整します

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- ボタン **1** を上部ディスプレイ行 **2** にSETUP ENTER が表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- ボタン **1** を長く操作して、SETUP メニューをスタートさせます。



- ボタン **1** を短時間操作し、メニューオプションDWA を選択します。
 - » 上側ディスプレイ欄 **2** にDWA と表示されます。
 - » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
 - ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- 以下の設定が可能です：
- On: DWA は ON になります、または、DWA はイグニッション OFF の後に自動的に ON になります。
 - Off: DWA は作動解除されています。

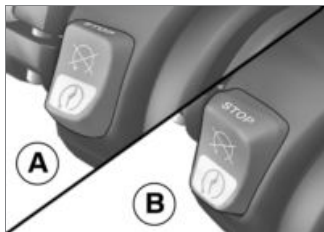
イグニッションキルスイッチ



- 1** イグニッションキルスイッチ

! 走行中にイグニッションキルスイッチを操作すると、リヤホイールがロックし、転倒するおそれがあります。走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



- A** エンジン停止
B 通常の操作ポジション

ヘッドライト

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。

▶ 光軸調整が正しいか疑わしい場合には、専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

光軸を調整する



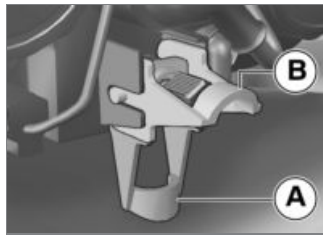
負荷が非常に高い場合には、対向車の目をくらませないように、スプリングプリロードを適切に調整することができません。

- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ヘッドライトを下げます。

モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：

- ヘッドライトの基本調整を専門の整備工場に、できれば、BMW Motorrad パートナーに依頼してください。

－ LED ヘッドライト^{OE} 装備



- 光軸の調整はスイングレバーによって行います。
- － **A** 通常の光軸
- － **B** 負荷が高い場合の光軸◀

ライト

ロービームおよびポジションライト / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、パーキングライトは自動的に ON になります。

▶ ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

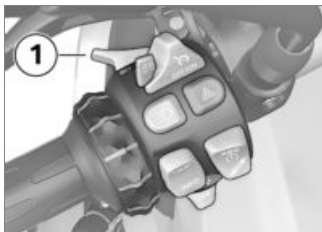
エンジンが始動すると、ロービームは自動的に ON になります。

— デイライト^{OE} 装備

またはロービームの代わりに、昼間の間はデイライトを ON にすることもできます。

ハイビームヘッドライトとパッシングライト

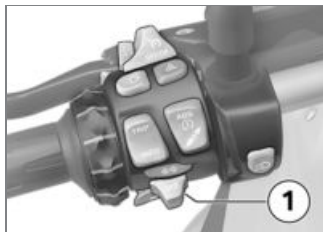
- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

パーキングライト

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶ 45)。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

補助ヘッドライト

— LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備


前提条件：補助ヘッドライトはロービームが作動している時のみ作動します；デイライトが ON

の場合は、補助ヘッドライトは ON にできません。

- エンジンを始動する(▶▶ 87)。



- ボタン **1** を押し、補助ヘッドライトを ON にします。

 補助ヘッドライトの表示灯が点灯します。


- ボタン **1** を再び操作し、補助ヘッドライトを OFF にします。

デイライト


– デイライト^{OE} 装備

マニュアルデイライト

前提条件：オートマチックデイライトは OFF の状態です。

 デイライトが暗闇で ON になると、視野が悪くなり対向車がくらまされるおそれがあります。


デイライトは暗闇で使用してはいけません。◀

 デイライトは、ロービームに比べて対向車からの視認性に優れています。それにより、昼間の視認性が向上します。◀

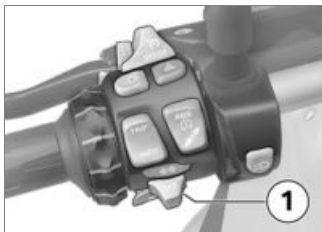
- エンジンを始動する(▶▶ 87)。
- ディスプレイのSETUP メニューのメニューオプションDLIGHTでオートマチックデイライトをOFFに切り替えます。



- ボタン **1** を押し、デイライトを ON にします。

 デイライトの表示灯が点灯します。

- » ロービーム、フロントスモールライトおよび補助ヘッドライトが OFF になります。
- 周囲が暗い場合やトンネルの中にいる場合：ボタン **1** を再度押し、デイランニングライトを OFF にして、ロービームおよびフロントスモールライトを ON にします。その際、補助ヘッドライトは再度 ON になります。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。



ウインカーキャンセル

ウインカーは、一定の走行時間および走行距離に達すると自動的に OFF になります。

min 10 s



ウインカーキャンセル

min 300 m

ハザードランプ

ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。

▶ ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合だけに使用するようになしてください。◀

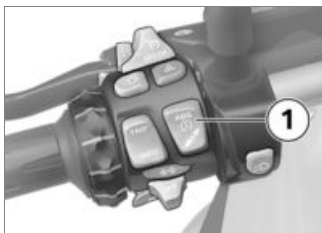


- ハザードランプを ON にするには、ボタン **1** を操作します。
- » イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードランプを OFF にするには、イグニッションを必要に応じて ON にし、ボタン **1** を再度操作します。


BMW Motorrad Integral ABS

ABS 機能を OFF にする


- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。
- » 次に、ASC アイコンの表示が変化します。ABS 警告灯が反応するまで、ボタン **1** を押し続けます。この場合、ASC の設定は変わりません。

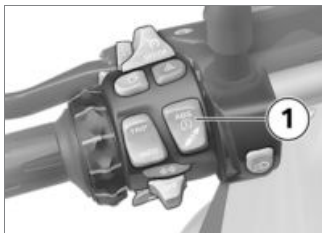
 ABS 警告灯が点灯します。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。


 ABS 警告灯は引き続き点灯します。

» ABS 機能が OFF になります。インテグラル機能は作動しています。


ABS 機能を ON にする




- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。


 ABS 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合は、警告灯が点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。

 ABS 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

- » ABS 機能が ON の状態です。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

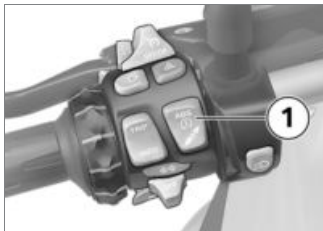
 イグニッションを OFF / ON にしてさらに 5 km/h 以上で走行後に ABS 警告灯が点灯する場合は、ABS が故障しています。◀

 BMW Motorrad Integral ABS 装備ブレーキシステムに関する詳細な情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◀

オートマチックスタビリティコントロール (ASC)

ASC 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- ASC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。

▶ ASC 機能は走行中も OFF にすることができます。◀



ASC 警告灯が点灯します。

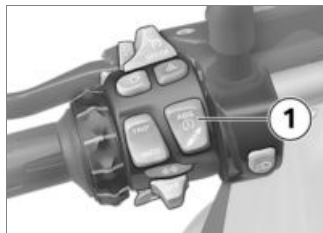
- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



ASC 警告灯が点灯し続けます。

» ASC 機能が OFF の状態です。

ASC 機能を ON にする



- ASC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。



ASC 警告灯が点灯しなくなります。自己診断が終了していない場合には、警告灯が点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



ASC 警告灯が点灯しなくなるか、または点滅し続けます。

» ASC 機能が ON の状態です。

- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

▶ イグニッションを OFF / ON にしてさらに 5 km/h 以上で走行後に ASC 警告灯が点灯する場合は、ASC が故障しています。◀

▶ BMW Motorrad オートマチックスタビリティコントロール (ASC) に関する詳細な情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◀

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルに 5 種類のシナリオを開発しました：

- 雨で濡れた路面での走行
- 乾いた路面での走行

- 走行モード Pro^{OE} 装備
- 乾いた路面でのスポーティな走行
- 軽いオフロードでの走行
- スポーティなオフロード走行

これらの 5 つのシナリオには、それぞれに最適なエンジントルク、スロットルレスポンス、ABS 制御、ASC 制御の組み合わせが用意されています。

- Dynamic ESA^{OE} 装備
- シャシー設定も選択したシナリオに合わせてあります。

走行モードを設定する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- ボタン **1** を押します。

▶ 選択可能な走行モードの詳細な情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◀



選択用の矢印 **1** および最初に選択可能な走行モード **2** が表示されます。



! オフロードモード (Enduro および Enduro Pro) は、通常のオンロード走行用に想定されているものではありません。オンロード走行時にオフロードモード (Enduro および Enduro Pro) を ON にすると、ブレーキング時に ABS で、また加速時に ASC で、不安定な走行状態を招くおそれがあります。それにより、転倒するおそれがあります。オフロードモード (Enduro および Enduro Pro) は、オフロード走行時のみ、ON にしてください。◀

- 選択用矢印の横に走行モードが表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し操作します。

▶ Enduro PRO -モードの選択：リヤホイール用 ABS 制御が制限されていることに注意してください（「技術情報」の章を参照）。◀

以下の走行モードから選択することができます：

- RAIN: 雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD: 乾いた路面でのライディング。

- 走行モード Pro^{OE} 装備

※ さらに、以下の走行モードを選択することができます：

- DYNA: 乾いた路面でのダイナミックライディング。
- Enduro: オフロード走行用
- Enduro PRO: スポーティなオフロード走行用（コーディングプラグが取り付けられている場合のみ）◀

- ※ 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
- ※ 走行中に新しい走行モードを ON するには、以下の前提条件が必要です：
 - スロットルグリップがアイドル位置にある
 - クラッチが操作されている
- ※ 新しい走行モードが ON になった後、再度、時計が表示されず。
- ※ 設定されている走行モード（エンジン特性曲線の調整あり）、ABS、ASC、ダイナミック ESA は、イグニッション OFF の後にも維持されます。

RDC をオフロードモードで OFF にする

- 走行モード Pro^{OE} 装備

オフロードを低いタイヤ充填圧で走行したい場合には、Enduro / Enduro Pro 走行モード用の

RDC 警告を OFF にすることができます。

- イグニッションを ON にする（▶ 45）。



- ボタン **1** を上部ディスプレイ行 **2** に SETUP ENTER が表示されるまで、繰り返し短時間押しします。
- ボタン **1** を長く操作して、SETUP メニューをスタートさせます。



- ボタン **1** を短時間操作し、メニューオプションRDCを選択します。
 - » 上側ディスプレイ欄 **2** にRDCと表示されます。
 - » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
 - ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
 - » 以下の設定が可能です：
- ON: RDC 用ディスプレイ警告マークが表示されなくなります。走行モード Enduro および Enduro Pro で、許容範囲外にあるタイヤ充填圧が表示されます。

- OFF: RDC 用ディスプレイ警告マークが表示され、さらに、走行モード Enduro および Enduro Pro で、許容範囲外にあるタイヤ充填圧が表示されます。

コーディングプラグを取り付ける

- 走行モード Pro^{OE} 装備

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶ 45)。
- フロントシートを取り外す(▶▶ 80)。



! あいているコネクタに汚れや水分が入り込み、機能障害に至るおそれがあります。

コーディングプラグの保護キャップを外した後、再び組み込みます。◀

- コネクター **1** の保護キャップを外します。



- そのため、ロック **1** を圧入し、キャップを引いて外します。
- コーディングプラグを組み込みます。
- イグニッションを ON にします。



コーディングプラグ用のアイコン **1** がディスプレイに表示されます。走行モード **2** Enduro PRO が選択可能です。

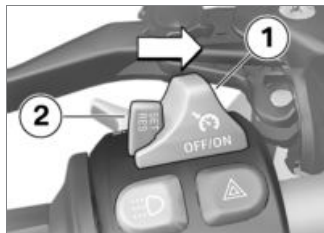
- » 選択された走行モードは、イグニッションを OFF にした後も保持されます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶ 82)。

クルーズコントロール

— クルーズコントロール^{OE} 装備

クルーズコントロールを ON にする

走行モード Enduro または Enduro Pro を OFF にして初めて、クルーズコントロールが使用可能になります。



- スイッチ **1** を右方向へずらします。
- » ボタン **2** の操作がロック解除されています。

車速をセットする



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。



クルーズコントロール
の調整範囲

30...210 km/h



クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

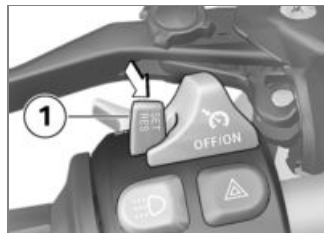
- » その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。
 - » 押すたびに速度が約 2 km/h ずつ加速します。
- ボタン **1** を前方へ押したまま保ちます。
 - » 車速が無段階に加速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短時間押します。
 - » 押すたびに速度が約 2 km/h ずつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押したまま保ちます。
 - » 車速が無段階に減速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ (スロットル)

を基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる) を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。

- » クルーズコントロール用表示灯が消灯します。

前回の速度を再設定する



- ボタン **1** を短時間後方へ押し、再び、メモリーされている車速にします。

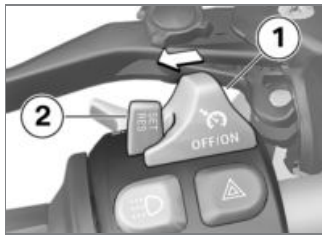
▶ スロットルを開けることで、クルーズコントロールは解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放し

た後、速度は登録速度までしか下がりません。◀



クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ **1** を左方向へずらします。
- » システムが OFF になります。
- » ボタン **2** が機能していません。

スプリングプリロード

調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

スプリングプリロードを調整する (リヤホイール)

⚠ 走行中にスプリングプリロードを調整すると、事故につながるおそれがあります。

スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

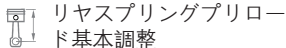
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



! スプリングプリロードおよびショックアブソーバーが調整されていない場合、モーターサイクルの走行特性が悪化します。

ショックアブソーバーを、スプリングプリロードに合わせて調整します。◀

- スプリングロードを高めるには、アジャストノブ **1** を矢印方向 HIGH に回します。
- スプリングロードを下げるには、アジャストノブ **1** を矢印方向 LOW に回します。



リヤスプリングプリロード基本調整

– Dynamic ESA^{OE} 非装備

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回します (1 名乗車時、荷物積載なし)

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回してから、「HIGH」方向に 15 回転回します (1 名乗車時、荷物積載あり)

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回してから、「HIGH」方向に 30 回転回します (後席乗車時、および荷物積載あり)◀

ショックアブソーバー調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。


- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

ショックアブソーバーを調整する (リヤホイール)

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- 車両の左側面から減衰調整を行います。




- 減衰を高めるには、調整ボルト **1** を時計回りに回します。
- 減衰を下げるには、調整ボルト **1** を反時計回りに回します。

 リヤショックアブソーバーの基本調整

- Dynamic ESA^{OE} 非装備

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、8 回カチッという音がするまで反時計回りに回します (1 名乗車 + 荷物積載なし)

 リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、2 回カチッという音がするまで反時計回りに回します (1 名乗車 + 荷物積載)

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、2 回カチッという音がするまで反時計回りに回します (積載荷重を伴う 2 名乗車) <

ダイナミック ESA (電子調整式サスペンション)

- Dynamic ESA^{OE} 装備

調整

電子調整式シャシー設定 Dynamic ESA により、モーターサイクルを積載荷重に合わせて簡単に調整することができます。

Dynamic ESA は車高レベルセンサーを介してシャシーの動きを検

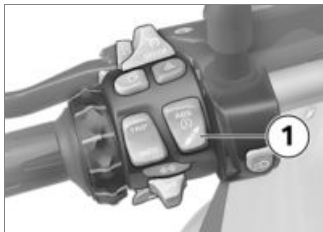
知し、それに反応してショックアブソーバーバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。基本設定 NORMAL から、ダンピングをよりハード (HARD) に、またはソフト (SOFT) に調整することができます。

- 走行モード Pro^{OE} 装備

シャシーの設定および選択可能なショックアブソーバーのバリエーションの数は選択した走行モードに応じて変わります。走行モードにより設定されているショックアブソーバーはライダーが変更できます。コーディングプラグが取り付けられていない場合、モード切替えのたびに走行モードによって規定されている基本調整に調整されます。コーディングプラグが取り付けられている場合、ライダーの調整はどのモードでも保存されます。

シャシー設定を表示する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- 現在の設定を表示させるため、ボタン **1** を短時間操作します。



ショックアブソーバーはマルチファンクションディスプレイの **1** のエリアに表示され、スプリングプリロードは **2** のエリアに表示されます。

» 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

シャシーを調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- 現在の設定を表示させるため、ボタン **1** を短時間操作します。

ショックアブソーバーを設定するには：

- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短く押します。

▶ ダンピングの調整は、走行中もできます。◀

以下の設定が可能です：

- SOFT: 快適なダンピング
- NORMAL: 通常のダンピング
- HARD: スポーティなダンピング

– 走行モード Pro^{OE} 装備
モードENDURO およびENDURO
PRO では 2 種類の設定が可能です：


- SOFT: 快適なダンピング
- HARD: スポーティなダンピング


スプリングプリロードを設定するには：


- エンジンを始動する(▶▶ 87)。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長く押します。

▶ 走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。◀

以下の設定が可能です：

 1 名乗車時


 1 名乗車 + 荷物積載時

 2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

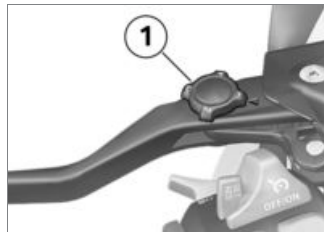
- 走行を続行する前に、調整作業が終了するのを待ちます。
- ▶ ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアップソーバーおよびスプリングプリロードが設定されます。設定中は、ESA 表示が点滅します。
- 温度が非常に低い場合には、スプリングプリロードを高くする前に、モーターサイクルの負荷を軽減してください。必要に応じて、パッセンジャーに降りてもらってください。
- ▶ 設定後、ESA 表示は消えます。

クラッチ

クラッチレバーを調整する

 走行中にクラッチレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。

クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。

▶ その際、クラッチレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

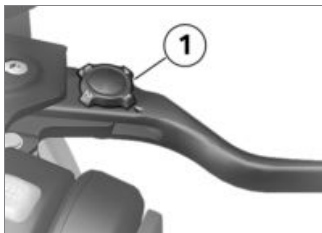
▶ 4 種類の設定が可能です：

- ポジション 1: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
- ポジション 4: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

! 走行中にハンドブレーキレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。ハンドブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。

▶ その際、ブレーキレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

- » 4種類の設定が可能です：
- ポジション 1: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
 - ポジション 4: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大



タイヤ

タイヤ充填圧を点検する

! タイヤ充填圧が適正でない場合、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼし、タイヤの寿命を縮めます。タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

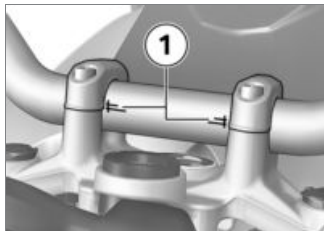
! 高速で走行していると、遠心力により、垂直に取り付けたタイヤバルブが傾き、少しずつ緩むことがあります。タイヤ充填圧が突然失われることのないように、ラバーシールの付いたバルブキャップを使用し、確実に締め付けてください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。

	タイヤ充填圧 (フロント)
2.5 bar (タイヤ冷間時)	
	タイヤ充填圧 (リア)
2.9 bar (タイヤ冷間時)	

- タイヤ充填圧が不十分な場合：
- タイヤ充填圧を調整します。

ハンドルバー 調整式ハンドルバー



モーターサイクルハンドルバーはマーク **1** の範囲で傾き調整ができます。ハンドルバーの調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

グリップヒーター

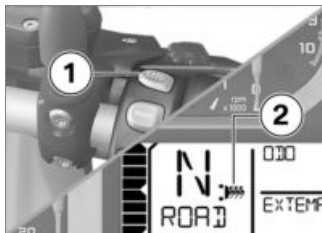
ーグリップヒーター^{OE} 装備

グリップヒーターの操作

▶ グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀

▶ 低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの充電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀

- エンジンを始動する(▶▶▶ 87)。



- ボタン **1** を、ご希望のヒーターレベル **2** が表示されるまで繰り返し押します。グリップを 2 段階で暖めることができます。



ヒーター出力 50%



ヒーター出力 100%

- ▶ 2 段階目ではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。
- ▶ それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。
- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を、グリップヒーターのアイコン **2** がディスプレイに表示されなくなるまで押します。

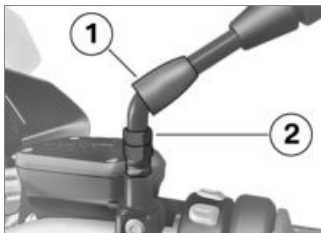
ミラー

ミラーを調整する



- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットを締め付けトルクで締め付けます。



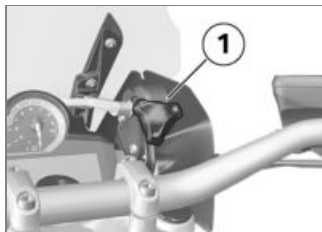
ミラー(ロックナット)とアダプター

22 Nm

- 保護キャップ **1** をボルトの上へずらします。

ウインドシールド

ウインドシールドを調整する

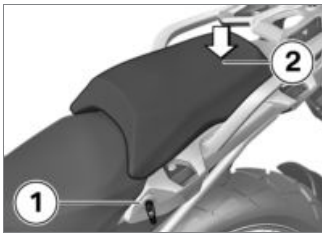


! 走行中にウインドシールドを調整することにより事故を起こす危険。
ウインドシールドは必ず停車時に調整します。◀

- アジャストノブ **1** を時計回りに回して、ウインドシールドを下げます。
- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ウインドシールドを上げます。

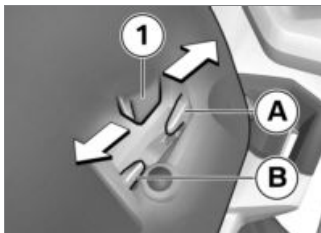
フロントおよびリヤシート リヤシートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- シートロック **1** を車両キーを使用して右へ回して保ちます。その際、リヤシートの後部 **2** を保持しながら押し下げます。
- リヤシート前部を持ち上げ、キーを放します。
- シートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

リヤシートを取り付ける



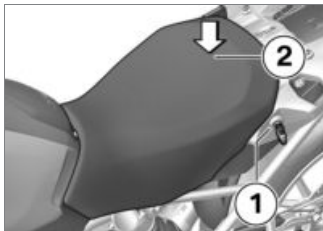
- リヤシートのシート位置は 2 通りに調整可能です。
- フロントシートの位置に応じて、リヤシートの調整方向に注意してください:
- リヤシートを両シャックル **1** でホルダーの中央に装着します。
 - ハイシートポジション: リヤシートを後方 **A** の方へ押す。
 - ローシートポジション: リヤシートを前方 **B** の方へ押す。
- リヤシートのシャックル **1** がしっかりと固定されます。



- リヤシート **1** の前部を力をこめて下へ押します。
- リヤシートがはっきりと音をたててはまります。

フロントシートを取り外す

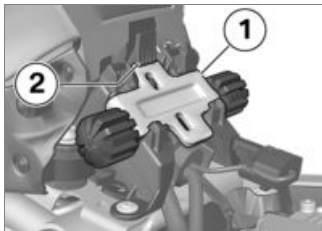
- リヤシートを取り外す(▶▶ 80)。



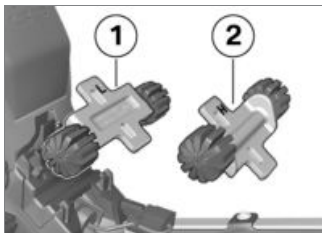
- シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保ちます。その際、フロントシート **2** の後ろ側を保持しながら、下方へ押しします。
- フロントシート後部を持ち上げ、キーを放します。
- フロントシートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

フロントシートの高さ / 傾きを調整する

- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 80)。



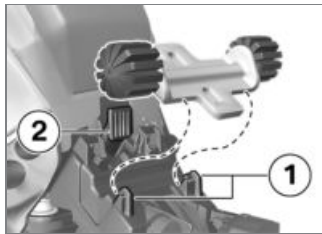
- フロント高さ調整 **1** を取り外すために、集中ロック **2** を押し下げ、高さ調整を上方へ取り外します。



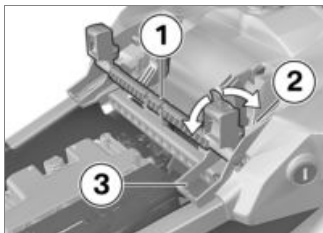
- 低いシート位置に調整するには、フロント高さ調整を方位 **1**

に取り付けます (識別ラベル L)。

- 高いシート位置に調整するには、フロント高さ調整を方位 **2** に取り付けます (識別ラベル H)。



- フロント高さ調整をまずホルダー **1** の下にスライドさせ、引き続き集中ロック **2** に押し入れてロックします。



- 低いシート位置に調整するには、リア高さ調整 **1** をポジション **3** に回転します (識別ラベル L)。
- 高いシート位置に調整するには、リア高さ調整 **1** をポジション **2** に回転します (識別ラベル H)。

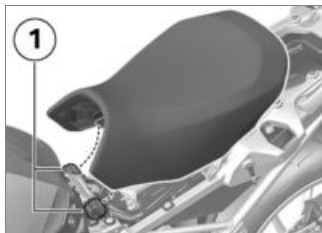
シート傾きを変更する場合：

- フロントおよびリア高さ調整を別々に位置決めします。

フロントシートを取り付ける

- リヤシートを取り外す(▶▶ 80)。

- フロントシートの高さ / 傾きを調整する(▶▶ 81)。



- フロントシートをホルダー **1** の左右に組み込みます、モーターサイクルの上に緩めに取り付けます。
- フロントシートの後部を軽く前方へ押してから、強く押し下げ、集中ロックをロックします。

走行

安全に関する注意事項.....	84
チェックリスト.....	86
始動.....	87
慣らし走行.....	89
ギヤチェンジ.....	90
ブレーキ.....	90
駐車する.....	91
オフロード走行.....	92
給油.....	93
モーターサイクルを搬送用に固定する.....	96

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しない
でモーターサイクルに乗ることは、
極めて危険です。次のアイテムを、
必ず装着 / 着用してください。


- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、
これらのアイテムは必ず装着 / 着用しな
ければなりません。BMW Motorrad ディー
ラーは喜んでご相談に応じます。また、
それぞれの目的に合わせた、適切なア
イテムをご用意しています。

最大許容バンク角の減少

- ローダウンサスペンション^{OE} 装
備

ローダウンシャシー仕様のモーター
サイクルの場合、標準シャシー仕様の
モーターサイクルと比べて、バンク角
度が小さくなり、最低地上高も低
くなります。


 モーターサイクルをあまり早く起
こすと、事故につながるおそれがあり
ます。ローダウン仕様のモーターサイ
クルでは、バンク角も最低地上高も
制限されていることにご注意くださ
い。◀

危険のない状況で、ご使用のモーター
サイクルの許容バンク角を点検してく
ださい。縁石の角や障害物などを
乗り越えるときには、車両の最低
地上高が低く制限されていること
を考慮に入れてください。

モーターサイクルをローダウン仕
様にすることにより、スプリング
トラベルは短くなります（「テクニ
カルデータ」の章を参照）。それ
までの走行快適性も制限される
可能性があります。タンデ

ム走行においては専用
にスプリングプリロードを調整する
必要があります。

荷物の積み込み

 積載量をオーバーしたり、
荷物のバランスが悪いと、
モーターサイクルの走行安定性
に悪影響を及ぼすおそれあり
ます。許容総重量を超えないよう
にし、積載に関する注意をお守り
ください。◀

- スプリングプリロードおよび
ショックアブソーバーの設定
を車両重量に合わせて調整し
ます。
- ケース^{OA} 装備
- ケースの容量が左右均等にな
っているか確認します。
- 重量が左右均等になっている
か確認します。
- 重いものはバッグの下部の内
側に入れます。

● ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を順守してください。◀

ー トップケース^{OA} 装備

● トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を順守してください。◀

ー タンクバッグ^{OA} 装備

● タンクバッグの最大積載荷重を確認し、対応する最高速度を遵守してください。



タンクバッグの積載容量

max 5 kg◀

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ー スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
- ー 荷物積載のアンバランス
- ー 不適切な服装
- ー タイヤ充填圧が低すぎる
- ー タイヤトレッドの摩耗
- ー その他

最高速度（オフロードタイヤ装着）



モーターサイクル用に提示されている最高速度は、タイヤの許容最高速度を超えていることがあります。非常に高速での走行は、タイヤの損傷を招き、事故に至るおそれがあります。タイヤの許容最高速度を遵守してください。◀

オフロードタイヤの場合、そのタイヤの許容最高速度を遵守してください。

許容最高速度を表示したステッカーを、見える位置に貼ってください。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



排気ガスを吸い込むと健康を害し、意識を失ったり、場合によっては死亡するおそれがあります。

排ガスを吸い込まないようにしてください。閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険




走行中、エンジンおよびエキゾーストシステムは極めて高温になります。接触による火傷の危険があります。モーターサイクルを駐車した後、誰もエンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀


触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。そのため、次の項目を守ってください。


- フューエルタンクを空にしない
- スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ミスファイアーが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる
- 無鉛ガソリンのみを使用する
- 指定されているメンテナンススケジュールを順守する。

 未燃焼ガスは触媒コンバーターを破損させます。触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート

 エンジンを長時間アイドリングしたままにすると、冷却が十分に行われず、オーバーヒートが発生するおそれがあります。極端なケースでは、車両火災が発生するおそれもあります。エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造

 モーターサイクル（エンジンコントロールユニット、スロットルバタフライ、クラッチなど）に改造を施した場合、部品を損傷し、安全に関わる機能の故障を招くおそれがあります。それに起因する損傷に対しては、保証は適用されません。いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリスト

以下のチェックリストを利用して、走行前には必ず、重要な機能、設定、摩耗限度について点検してください。

走行前に必ず

- ブレーキ機能
- フロント / リヤブレーキフルードレベル
- クーラントレベル
- クラッチ機能
- ショックアブソーバーの設定およびスプリングプリロード
- トレッドの溝の深さおよびタイヤ充填圧
- ケースおよび荷物の確実な固定

定期的に点検

- エンジンオイルレベル（燃料補給ごと）
- ブレーキパッド摩耗（3回の給油に1度）

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
 - » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 87)
 - » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 88)
 - » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 88)
 - ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。
- ▶ サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできますが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀
- コールドスタートおよび温度が低い場合：クラッチを引きます。



- スターターボタン **1** を押します。

▶ バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。

詳細については、「メンテナンス」の章のジャンプスタートを参照してください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、「仕様 (諸元)」の章のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶▶ 158)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にすると、メーターパネルによって、インジケーター / 警告灯のテスト、いわゆる Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

警告灯 / 表示灯がすべて ON になります。

ステップ 2

ジェネラル警告灯が赤から黄色に変わります。

ステップ 3

すべての作動しているインジケーター / 警告灯が次々と逆の順序で消灯します。

点灯しないインジケーター / 警告灯があった場合：

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルを数 m 走行させる必要があります (5 km/h 以上)。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ABS 警告灯が点滅します。

ステップ 2

- » 発進時にホイール回転数センサーを点検します。



ABS 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

- » ABS 警告灯が消灯します。

- すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。

ABS 自己診断の終了後、ABS の故障が表示されます。

- 走行を続行することは可能です。ABS もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ASC 警告灯がゆっくと点滅します。

ステップ 2

- » 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します (5 km/h 以上)。



ASC 警告灯がゆっくと点滅します。

ASC 自己診断が終了

- » ASC 警告灯が消灯します。

- すべての警告灯およびインジケータの表示に注意します。

ASC 自己診断の終了後、ASC の故障が表示される場合：



- 走行を続けることは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。

- 慣らし走行中のエンジン回転数を順守してください。

	慣らし走行中のエンジン回転数
	<5000 min ⁻¹ (走行距離 0...1000 km)
	フルロードなし (走行距離 0...1000 km)
	慣らし運転までの走行距離
	500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



新品のブレーキパッドの場合、制動距離が大幅に長くなるおそれがあります。早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



新しいタイヤではグリップ性能がまだ十分に発揮されません。特に路面が濡れている場合や傾斜のある場所では事故を起こす危険があります。よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

ギヤチェンジ

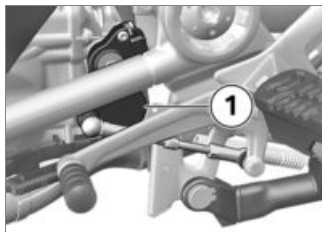
ーギヤシフトアシスト Pro^{OE}
装備

シフトアシストPro

ギヤシフトアシストはシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするものです。シフトアップ/シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。オートマチックは関係がありません。ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決めます。

▶ | ギヤシフトアシストProに関する詳しい情報については、「技術情報」の章を参照してください。◀

▶ | ギヤシフトアシストProを使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的にOFFになります。◀



- ギヤ入れは従来どおりシフトレバーを踏み込んで行います。
- ▶ シフトシャフトのセンサー **1** がシフトの希望を検知し、シフトサポートを介入させます。
- ▶ 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。限度回転数域におけるシフトアシストProの使用は避けてください。

- ▶ 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：
 - ークラッチが操作されている場合
 - ーシフトレバーが初期位置にない場合
 - ースロットルバタフライを閉じた状態（惰性走行）または減速時のシフトアップ。
- ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除しなければなりません。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？


フロント/リアホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、よ

り大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完全には路面に伝達できなくなります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Integral ABSにより回避されます。

下り坂

 下り坂で、リヤブレーキばかりを使用していると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。最悪の場合、ブレーキ

キが熱くなりすぎて破損することがあります。


フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：


- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。


 濡れた路面や汚れが原因のブレーキの効きの悪さ。ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。

 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀


 サイドスタンドは、車両の重量のみを支えられるように設計されています。サイドスタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀


- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

センタースタンド

- エンジンを停止させます。


 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

 メイン（センター）スタンドは激しく動かされると跳ね上がることがあり、モーターサイクルが転倒するおそれがあります。メイン（センター）スタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀

- メイン（センター）スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

オフロード走行


オフロード走行用ホイールリム

 このモーターサイクルはエンデュアロツアラーとして、軽度のオフロード走行にも使用できるよう設計されています。ただし、激しいオフロード走行では、標準アルミキャストホイールリムが損傷するおそれがあります。激しいオフロード走行では、オプションで提供しているクロススポークホイールを使用してください。◀


オフロード走行後


BMW Motorrad はオフロード走行後に以下の点に注意することをお勧めします：

タイヤ充填圧

 オフロード走行用にタイヤ充填圧を低下させたまま、舗装路を走行するとモーターサイクルの走行特性が悪化し、事故につながるおそれがあります。タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀


ブレーキ

 オフロード走行やぬかるんだ道路を走行すると、ブレーキディスクやブレーキパッドに汚れが付着し、ブレーキの効きが遅くなることがあります。ブレーキ操作を行ううちに、付着している汚れがとれるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

 舗装されていない道路や汚れた道路を走行すると、ブレーキパッドの摩耗が激しくなります。

ブレーキパッドの使用限度厚を頻繁に点検し、ブレーキパッドを早期に交換します。◀


スプリングプリロードおよびショックアブソーバー

 スプリングプリロードおよびショックアブソーバーをオフロード走行用に変更した場合、オンロードでのモーターサイクルの走行特性は悪化します。オフロードでの走行を終えたら、スプリングプリロードとショックアブソーバーを正しく調整してください。◀

ホイールリム

BMW Motorrad は、オフロード走行後に、ホイールリムが損傷していないか点検することをお勧めします。

エアフィルター

 エアクリーナーの汚れによるエンジンの損傷。


埃の多いオフロードで走行する場合には、エアクリーナーの汚れの点検を頻繁に行い、必要に応じて清掃または交換します。◀

非常に埃の多い条件下での走行(砂漠や乾燥した草原など)においては、専用に開発されたエアフィルターの使用が必要です。

給油

燃料品質

最適な燃費を得るため、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用するようにしてください。

 有鉛ガソリンを使用すると、触媒コンバーターが破損します。

有鉛ガソリンやマンガンを鉄などの金属添加物を含む燃料は決して給油しないでください。◀

- エタノールの割合が最大で 10%、つまり E10 燃料を使用することができます。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 10%エタノール、E10)
95 ROZ/RON
89 AKI



燃料品質の選択肢

無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。エンジンに低燃料品質 91 RON を使用する国などでは、それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。)(最大 10%エタノール、E10)
91 ROZ/RON
87 AKI

給油手順

! フューエルは簡単に引火します。フューエルタンクに火を近づけると、火災や爆発が起こる可能性があります。

フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

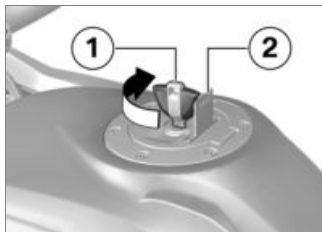
! フューエルは、高温になると膨張します。フューエルタンクからフューエルがあふれ、路面に至ることがあります。それにより、転倒するおそれがあります。

フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

! フューエルはプラスチックの表面を傷めるため、表面の光沢がなくなったり、外観が損なわれたりします。

プラスチック部品がガソリンと接触した場合は、すぐに拭き取ってください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。





- 保護キャップ **2** を開きます。
- フューエルタンクのキャップを、車両キー **1** を時計回りに回してロック解除し、開きます。



- フューエルをフィルターネックの下端（MAX 位置）まで補給します。

▶ リザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀

▶ 仕様（諸元）に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空になっているとき、すなわち燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀


 フューエル容量
約 20 l
 フューエルリザーブ容量
約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。


給油手順


ーキーレスライド^{OE} 装備

ステアリングロックはロック解除された状態です。

 フューエルは簡単に引火します。フューエルタンクに火を近づけると、火災や爆発が起こる可能性があります。フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決し

てタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

 フューエルは、高温になると膨張します。フューエルタンクからフューエルがあふれ、路面に至ることがあります。それにより、転倒するおそれがあります。フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

 フューエルはプラスチックの表面を傷めるため、表面の光沢がなくなったり、外観が損なわれたりします。プラスチック部品がガソリンと接触した場合は、すぐに拭き取ってください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。



- タンクキャップは、以下の2つの方法で開くことができます：バリエーション 1
- イグニッションスイッチをOFFにする(▶▶ 45)。
- タンクキャップのタブ **1** を**ゆっくりと**引き上げます。
 - » メーターパネルでLED（赤）が点滅します。
- タブ **1** をもう **1 回ゆっくりと**引き上げます。
 - » タンクキャップはロック解除されています。

バリエーション 2

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶▶ 45)。
- イグニッションを OFF にした後、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。



タンクキャップを開く

2 min

- タンクキャップのタブ **1** を**ゆっくり**と引き上げます。
- ▶ タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。



- フューエルをフィルターネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。

▶ リザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀

▶ 仕様 (諸元) に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空になっているとき、すなわち燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀



フューエル容量

約 20 l



フューエルリザーブ容量

約 4 l

- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押します。
- ▶ タンクキャップが音をたててロックします。

モーターサイクルを搬送用に固定する

- テンションストラップが取り回されているコンポーネントをすべて、傷が付かないように保護します。接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください。



! 車両が横に傾き、倒れるおそれがあります。

車両が横倒しないように保持し、できればもう 1 人の人にサポートしてもらいます。◀

- モーターサイクルを搬送用プレートの上へと動かします。サイドスタンドやセンタースタンドで立てないでください。



! コンポーネントが損傷するおそれがあります。

コンポーネント（ブレーキラインやケーブルなど）が挟み込まれないようにしてください。◀

- フロント側テンションストラップをハンドルの両側に取り付けて固定する。
- テンションストラップをトレーリングアームに通してピンと張ります。



- リヤ側テンションストラップをパッセンジャー用フットレスト部分に取り付けて固定し、ピンと張る。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるかぎりしっかりと固定されるようにします。

技術情報

走行モード	100
シフトアシスト	101
ブレーキシステム (BMW Motorrad Integral ABS 装備)	102
エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備)	105
タイヤ空気圧コントロール (RDC)	107

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせるため、5つの走行モードから選択することができます：

- RAIN
- ROAD (標準モード)
- 走行モード Pro^{OE} 装備
- DYNAMIC
- Enduro
- Enduro PRO (コーディングブラグが取り付けられている場合のみ)

5つの走行モードにはそれぞれ、ABS、ASCシステム用ならびにスロットルレスポンス用に調整されている設定があります。

- Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESAの適合も選択した走行モードに応じて決まります。

それぞれのモードにおいて、ABS および / またはASC を OFF にすることができます。以下の説明は、システムが ON になっている場合にのみ関連するものです。

スロットルレスポンス

- モードRAIN およびENDURO: 控えめ
- モードROAD およびENDURO PRO: ダイレクト
- モードDYNAMIC: ダイナミック

ABS

- リヤホイール浮き上がり緩和機能は、全モードで作動しています。
- モードRAIN、ROAD およびDYNAMICでは、ABSはオンロード走行に調整されています。
- モードENDUROでは、ABSはオフロード走行でストリート

タイヤ装着に調整されています。

- モードENDURO PROでは、ブレーキペダルが操作されると、リヤホイールにABS制御がかりません。ABSはオフロード走行でラグタイヤ装着に調整されています。

ASC

- フロントホイール浮き上がり緩和機能は、全モードで作動しています。
- モードRAIN、ROAD、DYNAMICでは、ASCはオンロード走行に合わせて調整されています。
- モードENDURO およびENDURO PROでは、ASCはオフロード走行に合わせて調整されています。

- Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESA

- モード RAIN、ROAD および DYNAMIC では、ショックアブソーバーのバリエーション HARD、NORMAL および SOFT から選択することができます。
- 基本設定 RAIN: SOFT
- 基本設定 ROAD: NORMAL
- 基本設定 DYNAMIC: HARD
- モード ENDURO、および ENDURO PRO では、ショックアブソーバーのバリエーション HARD および SOFT から選択することができます。
- 基本設定 ENDURO: SOFT
- 基本設定 ENDURO PRO: HARD

切替

- 走行モード Pro^{OE} 装備

走行中の走行モードの変更は、以下の前提条件においてのみ可能です：

- リヤホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

この作動状態は、車両がイグニッション ON の状態のときのみです。またはその代わりに、以下のステップを実行する必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す
- ブレーキレバーを操作しない
- クラッチを操作する。

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

シフトアシスト

- ギヤシフトアシスト Pro^{OE} 装備

シフトアシストPro

この車両には、元々レンシュポルト（レーシングスポーツ）において開発されたギヤシフトアシスト Pro が装備されています。この装備はツーリング走行に合うように適合化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- 走行時における全シフト動作の 70～80% をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。

- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- 減速およびシフトダウン（スロットルバタフライは閉じた状態）の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作しない状態からアクセルレターのスプリングの抵抗を感じる「切替え位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早く希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必

要があります。ギヤシフトアシストPro を使用してのシフト動作では、その都度、シフト動作前およびシフト動作中の負荷の状態（スロットルグリップ位置）を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うシフト動作では、ギヤシフトアシストPro によるサポートは行われません。

シフトダウン

- シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。



最高回転数

max 9000 min⁻¹

シフトアップ

- シフトアップ時にアイドルリング回転数が下がることにより、ギヤシフトアシストPro によるサポートは行われません。



アイドルリング回転数

1150 min⁻¹ (エンジン作動温度時)


ブレーキシステム (BMW Motorrad Integral ABS 装備)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント/リアホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操

作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、ABS 制御に伴い、ブレーキング中のフロントおよびリヤホイールブレーキへのブレーキフォース配分を、モーターサイクルの荷重状態に合わせて行います。

 フロントブレーキをかけた際に引き起こされる後輪の空転 (Burn Out) は、インテグラル機能により、不可能です。リヤブレーキおよびクラッチが損傷するおそれがあります。Burn Out を行わないでください。◀

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものにな

ります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動して、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行

安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときBMW Motorrad Integral ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数 (砂利、凍結、雪の場合) をかなり低く見積っています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。


BMW Motorrad Integral ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるのでしょうか？

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダル

をブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

減速力が著しく強く、減速が迅速な場合、状況によっては、BMW Motorrad Integral ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。

 急激なブレーキングを行うと、リヤホイールが浮き上がるおそれがあります。

ブレーキング時には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールが浮き上がることを防ぐものではないことに注意してください。◀

BMW Motorrad Integral ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad Integral ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ABS 機能が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad Integral ABS に問題がある場合以外に、特殊な運転 / 走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります：

- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック（オフロード走行時の滑りやすい路面においてなど）。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能は、イグニッションを OFF および ON にすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



技術システムはすべて、常に良好な整備状態にしておいてください。

ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず順守してください。◀

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABS により制動距離が短くなるからといって、無謀なドライビングスタイルは避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。



コーナリング時のブレーキには特に注意してください。コーナリング時のブレーキは、特別な物理法則の影響を受けるので、ABS といえどもその影響を補正することはできません。どのような走行スタイル

を適切とするか、ライダーの責任が問われます。安全のためのサポートを、リスクキーな走行により制限しないでください。◀

エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備)

ASC はどのように作動するのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、フロントホイールとリアホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリアホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASC はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASC の制御性能に大きな影響を与えます (コーナーでの荷重移動、積載状態など)。

オフロード走行時には、走行モードENDURO を作動させることを推奨します。このモードではASC による制御介入が遅れて行われるため、制限付きでドリフトを行うことができます。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad ASC を OFF にできます。



ASC を装備していても、物理的法則を無効にすることはできません。どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が遅れる場合があります。

リヤホイールの回転（空転）やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ASC 機能は OFF になり、ASC の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

以下の特殊な走行状態では、BMW Motorrad ASC が自動的に OFF になる場合があります：

- ASC が作動していない状態で長時間の後輪走行（ウィーリー）
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）
- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する

イグニッションを OFF にしてから ON にして 10 km/h 以上で走行すると、ASC は再び作動します。

接地面が極端に摩耗しているタイヤの場合、大きなスリップにより、十分な駆動力が得られる前に ASC が作動する場合があります。このような場合には、BMW Motorrad ASC を OFF にしてください。

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC がエンジントルクを抑えます。

このような場合、BMW Motorrad は、スロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールがロックされ、不安定な運転 / 走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad ASC による補正を行うことはできません。

タイヤ空気圧コントロール (RDC)

– タイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備

機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。

センサーには遠心ガバナーが装備されており、これにより車速が最初に約 30 km/h を越えた時点で測定値の伝送が行われ始めます。タイヤ充填圧が最初に受信される前は、ディスプレイにはタイヤごとに -- が表示されます。停車後、センサーはさらに約 15 分間、測定値を伝送します。

RDC コントロールユニットが装備されていてホイールにセンサーが取り付けられていない場合は、エラーメッセージが出ます。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に合わせて調整されている充填圧領域を 3 つに識別します：

- 充填圧が許容範囲内にある
- 充填圧が許容限界域にある
- 充填圧が許容範囲外にある

温度補正

タイヤ充填圧は温度に依存しています。すなわち、タイヤ温度が上昇するとタイヤ充填圧は増加し、タイヤ温度が下がると減少します。タイヤ温度は外気温度、ドライビングスタイルおよび走行時間に応じて変化します。タイヤ充填圧は、温度補正が行われてマルチファンクションディスプレイに表示されます。このタイヤ温度は 20 °C が想定されています。ガソリンスタンドの空気圧テスターでは温度補正は行われず、測定されたタイヤ充填圧はタイヤ温度に左右されます。そのため、そこで表示される値は、大抵の場合、マルチファンクション

ディスプレイに表示された値とは一致していません。

充填圧の調整

マルチファンクションディスプレイの RDC 値と Rider's Manual の裏表紙に記載されている値を比較してください。これらの値の偏差は、ガソリンスタンドの空気圧テスターで補正する必要があります。

例：Rider's Manual にはタイヤ充填圧は 2.5 bar と記載されており、マルチファンクションディスプレイには 2.3 bar と表示されています。つまり、0.2 bar 足りません。ガソリンスタンドのテスターでは 2.4 bar と表示されています。正しいタイヤ充填圧にするため、この値を 0.2 bar 分、2.6 bar まで上げる必要があります。

メンテナンス

一般的な情報	110
ツールキット	110
エンジンオイル	111
ブレーキシステム	112
クーラント	116
クラッチ	118
リムとタイヤ	118
ホイール	119
フロントホイールスタンド	124
バルブ	126
エアフィルター	131
始動補助	132
バッテリー	134
ヒューズ	137

一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

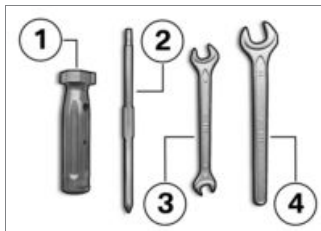
取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。

メンテナンスおよび修理作業に関するその他のインフォメーションは、BMW Motorrad ディーラーで DVD を入手することができます。

いくつかの作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ツールキット

標準スペシャルツールキット

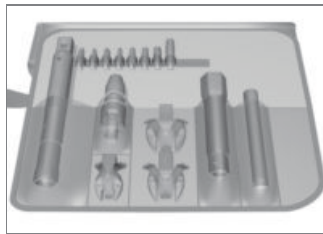


- 1 ドライバーグリップ
- 六角レンチの使用。
- エンジンオイルを補充する (▶▶ 112)。
- 2 リバーシブルブレードドライバースタンプ
- プラス溝 PH1 およびトルクス T25
- フロント / リヤウインカー用バルブを取り外す (▶▶ 129)。
- バッテリーカバーを取り外す (▶▶ 135)。

- 3 オープンエンドレンチ
口径 8/10
- バッテリーを取り外す (▶▶ 135)。
- 4 オープンエンドレンチ
口径 14
- ミラーアームを調整する (▶▶ 79)。

サービスツールキット

- サービスツールキット OA 装備




さらに行われるサービス作業（ホイールの脱着など）のために、BMW Motorrad では、あなたのモーターサイクルに対応する適切なサービスツールキットを

ご用意しています。このツールキットはBMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

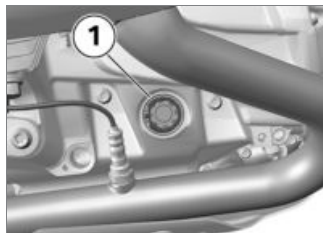
 オイルレベルはオイル温度により変化します。温度が高くなるにつれて、オイルパン内のオイルレベルも上昇します。エンジン冷間時や短時間走行した後にオイルレベルの点検を行うと、正確なレベルが測定できなくなります。

エンジンオイルレベルを正確に表示させるため、必ずエンジン暖機状態でオイルレベルを点検してください。◀

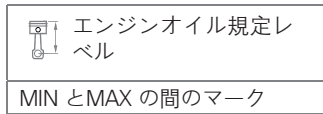
- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイ

ン（センター）スタンドで立てます。

- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。



- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。



オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：

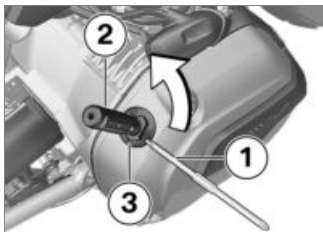
- エンジンオイルを補充する(▶▶ 112)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- オイル注入口周辺を清掃します。
- 動力伝達を行いやすくするため、差替式六角レンチ **1** をトルクス側からドライバーのグリップ **2** (ツールキット) に差し込みます。
- このツールキットをオイルフィルター開口部のキャップ **3** に組み込み、反時計回りに取り外します。

- エンジンオイルレベルを点検する(➡ 111)。

! エンジンオイルは多すぎても少なすぎても、エンジンを損傷するおそれがあります。エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。



エンジンオイル補充量

max 0.95 l (MIN とMAX 間の偏差)

- エンジンオイルレベルを点検する(➡ 111)。
- オイルフィルター開口部のキャップ **3** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

- ブレーキペダルを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりした抵抗が感じられない場合：

! 作業が正しく行われなかった場合、ブレーキシステムの動作の確実性が損なわれます。ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門のメカニックにお任せください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

フロントブレーキパッド厚を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッドの厚さを目視点検で点検します。目視点検方向: ホイールとフロントサスペンションの間を通過して、ブレーキパッド **1** へ。



フロントブレーキパッドの摩耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター (溝) がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えない場合:

! パッドの使用限度厚を下回ると、ブレーキ性能が低下し、場合によってはブレーキが損傷します。

ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、使用限度厚

を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

リアブレーキパッド厚を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検する。目視点検方向: スプラッシュガードとリアホイールの間

を通して、ブレーキパッド **1** へ。



リヤブレーキパッドの
 消耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)

摩耗限度に達している場合:

! パッドの使用限度厚を下回ると、ブレーキ性能が低下し、場合によってはブレーキが損傷します。

ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、使用限度厚

を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する

! ブレーキフルードリザーバータンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

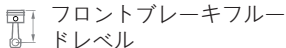
ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。
- ハンドルを直進位置にします。



- フロントブレーキフルードリザーバータンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

▷ ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀




ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルがMIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する


 ブレーキフルードリザーバータンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀


- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。



- リヤブレーキフルードリザーバータンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

 ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



 リヤブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルがMIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

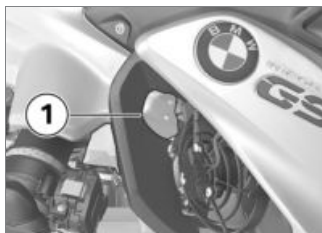
ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：


- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クーラント

クーラントレベルを点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。

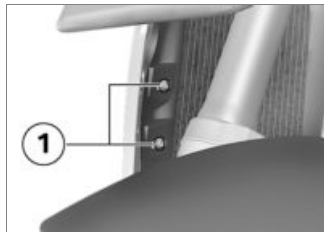


 高温になっているエンジンで火傷する危険があります。

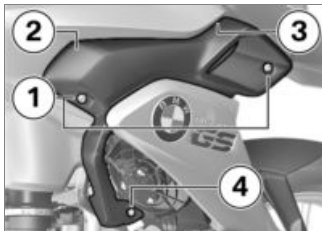
熱くなっているエンジンからは離れてください。
熱くなっているエンジンには触れないでください。◀

- リザーバタンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。クーラントレベルが規定値を下回った場合：
- クーラントを補充します。

クーラントを補充します



- ボルト **1** を取り外します。



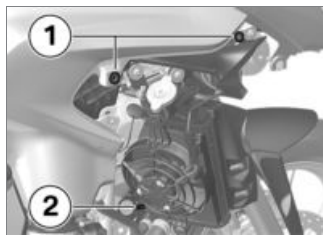
- ボルト **1** を取り外します。
- サイドトリムパネルのポジション **2**、**3** および **4** を止め具から取り外します。



- クーラントリザーバータンクのキャップ **1** を開き、クーラン

トを規定レベルまで補充します。

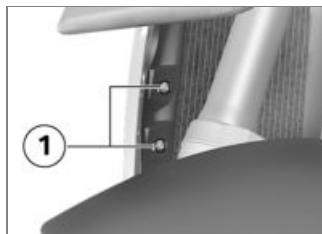
- クーラントレベルを点検します(▶▶ 116)。
- クーラントリザーバータンクのキャップを閉じます。



- サイドトリムパネルをホルダー **1** および **2** に組み込みます。



- ボルト **1** を取り付けます。



- ボルト **1** を取り付けます。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
 - ▶ はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- 抵抗がはっきりと感じられない場合：


- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する


- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する

 **!** トレッドが法定の最小残溝量に達していない場合でも、モーターサイクルの走行特性はすでに低下しているおそれがあります。

タイヤは、トレッドが最小残溝量に達する前に交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して点検します。

 摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのア

ルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

スポークを点検する

◦ クロススポークホイールOE 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ドライバーのグリップなどでスポークを軽くこすり、そのときの音色を調べます。

音色が一定に聞こえない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにスポークの点検を依頼してください。

ホイール

承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品がBMW Motorradにより検査され、走行安全性に優れていると位置付けされています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorrad ではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad

は、BMW Motorrad による検査済タイヤのみの使用を推奨します。

詳細については、BMW Motorrad **ディーラー**にお問い合わせください。

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

ホイールサイズは、フレーム制御システム ABS および ASC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径およ

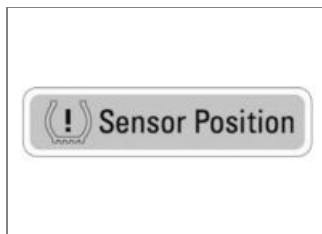
び幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーホイールも、装備されている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。

ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前にBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

RDC ラベル

ータイヤ空気圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備



! RDC センサーは、不適切なタイヤの変更により損傷するおそれがあります。

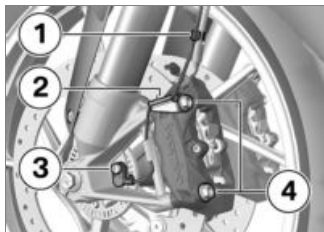
BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に、ホイールにRDC センサーが装着されていることをお伝えください。◀

RDC 装備のモーターサイクルには、ホイールリム上のRDC センサー位置に当該ラベルがあります。タイヤ交換の際には、RDC センサーを損傷しないように注意してください。BMW Motorrad ディーラーまたはワークショップに、

RDC センサーが取り付けられていることを知らせてください。

フロントホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。



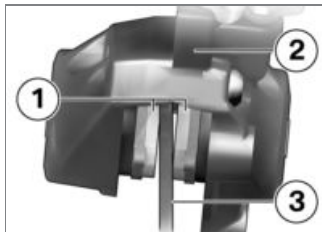
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** から外します。
- ボルト **3** を外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリ

パーを取り外す際に、傷が付かないようにします。

! 取り外した状態では、ブレーキパッドは押しつぶされ、再度取り付ける際に、ブレーキディスクをブレーキパッド間に収めることが困難になる場合があります。

ブレーキキャリパーを取り外した状態では、ブレーキレバーを操作しないでください。◀

- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。



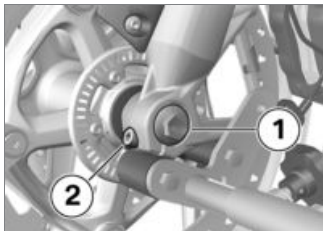
- ブレーキパッド **1** を、ブレーキキャリパー **2** を回転させ

て、ブレーキディスク **3** に少し押しつけます。

- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。
- モーターサイクルを持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。それには、BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 124)。



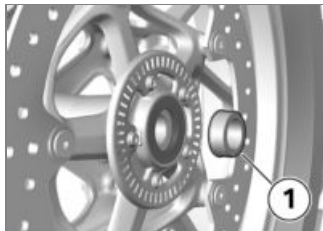
- 右側アクスルクランプボルト **1** を外します。



- ボルト **1** を取り外します。
- 左アクスルクランプボルト **2** を外します。
- アクスルシャフトをわずかに内側に押し、アクスルシャフト右側から手が届きやすいようにします。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト **1** を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



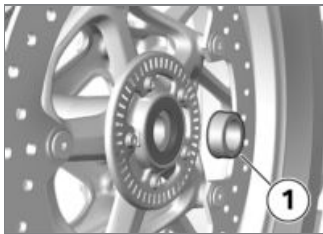
- スペーサーブッシュ **1** をホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける

! 標準ホイールとは異なるホイールを装着すると、ABS およびASC の制御動作において、機能障害が発生するおそれがあります。

この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

! ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



• ホイールハブ左側スペーサーブッシュ **1** を取り付けます。

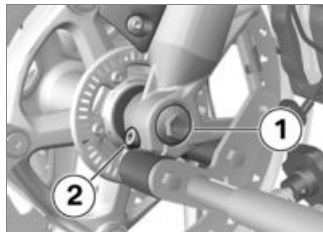
! フロントホイールは必ず回転方向に取り付けてください。

タイヤまたはホイールリム上にある回転方向を示す矢印に注意してください。◀

• フロントホイールをフロントホイールロケーションへ転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **1** を取り付けます。
- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 124)。



• ボルト **1** を規定の締付けトルクで取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。



テレスコピックフォーク
内アクスルシャフト

30 Nm

• 左アクスルクランプボルト **2** を規定トルクで締め付けます。




テレスコピックフォーク
のアクスルシャフト用固定ボルト

19 Nm

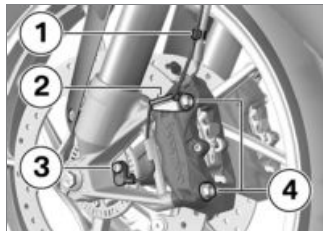


- 右アクスルクランプボルト **1** を規定のトルクで締め付けます。


 テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト

19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。




- 左右の固定ボルト **4** を規定トルクで締め付け、取り付けます。

 テレスコピックフォークのブレーキキャリパー

38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどはがします。

 ブレーキパッドがブレーキディスクに完全に密着していない場合、ブレーキの効きの遅れにつながります。

走行開始前に、ブレーキの効きに遅れがないことを確認します。◀

- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** に組み込みます。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト **3** を取り付けます。



ホイール回転数センサーとフォーク

接合剤: マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤 (中強度) 使用

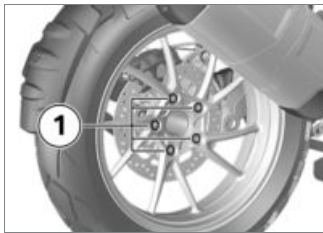
8 Nm

リヤホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。
- ギヤを 1 速に入れます。

! エグゾーストシステムが熱くなっていることによる火傷の危険があります。熱くなっているエキゾーストシステムのコンポーネントに触れないでください。◀

- エンドマフラーを冷却します。



- リヤホイールのボルト **1** を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。

リヤホイールを取り付ける

! 標準ホイールとは異なるホイールを装着すると、ABS およびASC の制御動作において、機能障害が発生するおそれがあります。

この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

! ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。



- ホイールボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。



リヤホイールとホイールフランジ

締付け順序: 対角の順に締め付けます

60 Nm

フロントホイールスタンド フロントホイールスタンドを取り付ける

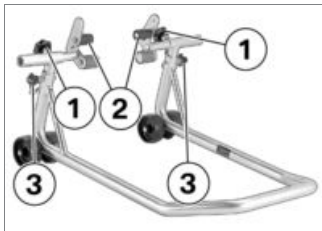
! BMW Motorrad フロントホイールスタンドは、メイン(センター) スタンドや他の補

助スタンドを使用しないでモーターサイクルを保持できるようには設計されていません。モーターサイクルをフロントホイールスタンドとリヤホイールのみで立てると、転倒するおそれがあります。

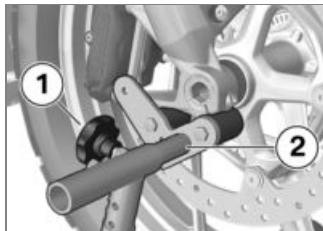
モーターサイクル

は、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、メイン（センター）スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀

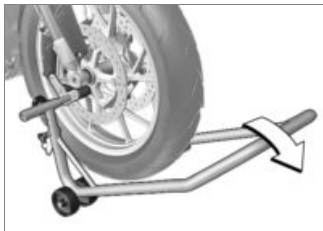
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。
- フロントホイールサポート付きベーススタンドを使用してください。ベーススタンドとそのアクセサリ部品は管轄のBMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。



- ボルト **1** を外します。
- フロントサスペンションが間に収まるまで、両固定ツール **2** を外側にずらします。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用して希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせ、フロントアクスルに押し込みます。



- フロントサスペンションが確実に重なるよう、両固定ツール **2** を調整します。
- ボルト **1** を締め付けます。



! モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てた場合：モーターサイクル前部を持ち上げすぎると、メイン（センター）スタンドが地面から浮き上がり、モーターサイクルが横転する可能性があります。持ち上げる際には、メイン（センター）スタンドが常に接地しているように注意してください。◀

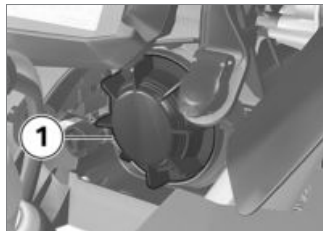
- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

バルブ

ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する

▶ コネクターやスプリングクランプおよびライトバルブの位置や向きは、以下の図と異なる場合があります。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ロービームを交換します。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ハイビーム用バルブを交換します。





- コネクター **1** を外します。



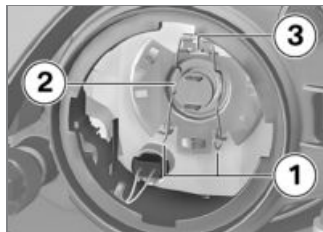
- スプリングクランプ **1** をロックから外し、横へ折り曲げます。
- バルブ **2** を取り外します。

- 故障しているバルブを交換します。

	ロービームのバルブ
H7 / 12 V / 55 W	
- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	
LED<	

	ハイビーム用バルブ
H7 / 12 V / 55 W	
- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	
LED<	

- バルブを持つときには、ガラス面が汚れないように、必ずソケット部分を持ちます。



- バルブ **2** をセットします。その際、ノーズ **3** が正しい位置にあるか確認してください。

▶ 白熱バルブの位置や向きは、図とは異なる場合があります。◀

- スプリングクランプ **1** をホルダーにセットします。



- コネクター **1** を取り付けます。
- カバーを組み込み、時計回りに回して取り付けます。

ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。




- カバー **1** を反時計回りに回して取り外します。



- バルブホルダー **1** をライトハウジングから引き出します。



- バルブ **1** をソケットから引き出します。
- 故障しているバルブを交換します。


 ポジションライト / パーキングライトバルブ

W5W / 12 V / 5 W

- LED ヘッドライト OE 装備

LED<

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



フロント / リヤのウインカー 用バルブを交換する

– LED ウインカー^{OE} 非装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

- バルブ **1** をバルブソケットにセットします。



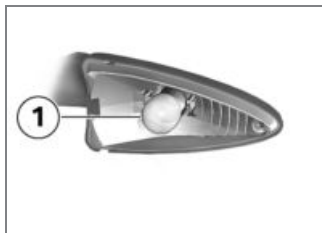
- バルブホルダー **1** をライトハウジングに組み込みます。
- カバーを組み込み、時計回りに回して取り付けます。



- レンズのボルト固定側をライトハウジングから引いて外します。



- ボルト **1** を取り外します。



- バルブ **1** を反時計回りに回してライトハウジングから取り外します。◁

- 故障しているバルブを交換します。



フロントウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

- LED ウインカー^{OE} 装備

LED<



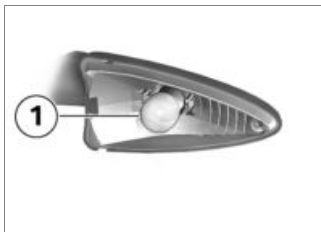
リアウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

- LED ウインカー^{OE} 装備

LED<

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- ボルト **1** を時計回りに回して、ライトハウジングに取り付けます。



- レンズ（車両側）をライトハウジングにセットし、閉じます。



- ボルト **1** を取り付けます。

LED テールライトを交換する

LED テールライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ウインカーを交換する

- LED ウインカー^{OE} 装備

- LED ウインカーは全交換のみできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。<

LED ヘッドライトの交換

– LED ヘッドライト^{OE} 装備

- LED ヘッドライトは一式でしか交換できません。詳しくは専門の整備工場、できればBMW Motorrad ディーラーまでお問い合わせください。◁

LED 補助ヘッドライトを交換する

– LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

LED 補助ヘッドライトは、アセンブリーでのみ交換可能です。LED を個別に交換することはできません。

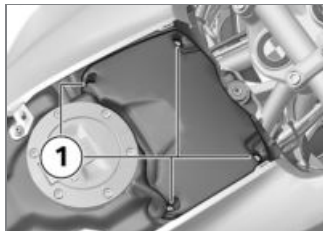
BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

エアフィルター

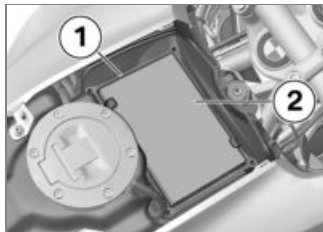
エアフィルターエレメントを交換する



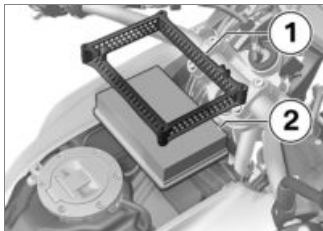
- フロントシートを取り外す(▶▶ 80)。
- ボルト **1** およびボルト **2** を取り外します。
- センターフェアリングを取り外します。



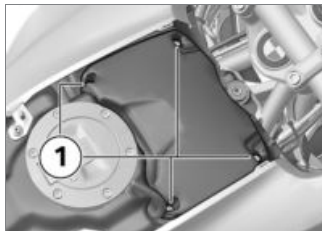
- ボルト **1** を取り外します。
- エアクリーナーカバーを取り外します。



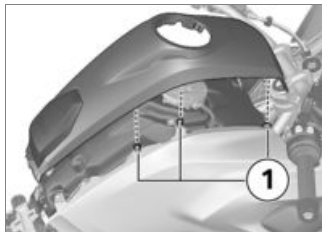
- フレーム **1** を取り外します。
- エアフィルター **2** を取り外します。



- エアクリーナーエレメント **2** を清掃し、必要に応じて交換します。
- エアクリーナーエレメント **2** およびフレーム **1** を組み込みます。



- エアクリーナーカバーをのせます。
- ボルト **1** を取り付けます。



- センターフェアリングを組み込み、その際サイド部への接続 **1** に注意します。



- ボルト **1** および **2** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶ 82)。

始動補助

- !** 電源ソケット用電気配線の負荷容量は、他車のバッテリーなどと接続してモーターサイクルを始動させるようには設計されていません。大電流により、ケーブルから火災が発生したり、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。モーターサイクルのジャンプス

スタートを行う際に、電源ソケットは使用しないでください。◀

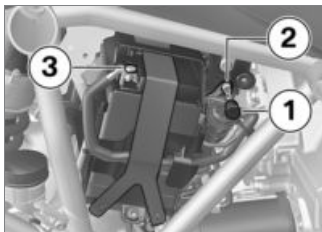
! ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接続を誤ると、ショートが引き起こされるおそれがあります。

必ず、完全絶縁タイプのクランプをつけたジャンパーコードを使用してください。◀

! ジャンプスタートを12Vより高い電圧で行うと、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。

供給側車両のバッテリー電圧が、12Vであることを確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- バッテリーカバーを取り外す(▶▶ 135)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。



- 保護キャップ **1** を取り除きません。
- 始動補助ケーブル (赤) の一方の先端を、放電したバッテリーのプラス極 **2** に接続し、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラス極に接続します。

▶ 12Vバッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合 (ジャンプスタートの場合など)、オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) のヒューズが熔断するおそれがあります。◀

- ジャンパーコード (黒) の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナル **3** に接続します。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。

▶ エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似の補助剤は使用しないでください。◀

- 保護キャップを取り付けます。
- バッテリーカバーを取り付ける(▶ 137)。

バッテリー

メインテナンスに関する注意

正しいメインテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。

- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。

- バッテリーを逆さまにしない。



バッテリーを接続したままにしておくと、電装品(時計など)がバッテリーを放電してしまいます。これは、バッテリーの過放電の原因になります。この場合は、保証の対象になりません。

4週間以上運転しない場合には、バッテリーにトリクルチャージャーを接続してください。◀



BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては

は、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する



バッテリーを接続したままバッテリーターミナルから直接充電すると、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

バッテリーターミナルからバッテリーの充電を行う場合は、その前にバッテリーを車体から取り外してください。◀



イグニッションが ON の状態で、警告灯 / インジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが消灯したままの場合は、バッテリーが完全に放電しています (バッテリー電圧 < 9 V)。完全に放電したバッテリーの充電を補助ソケットから行うと、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

完全に放電したバッテリーは、

必ず接続を外し、ターミナルから直接充電してください。◀

! バッテリーの充電を電源ソケットから行う場合は、必ず適切なバッテリーチャージャーを使用してください。不適切なバッテリーチャージャーを使用すると、車両の電子機器が故障するおそれがあります。

適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorradディーラーで入手することができます。◀

• 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

▶ バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が感知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

• チャージャーの取扱説明書に従ってください。

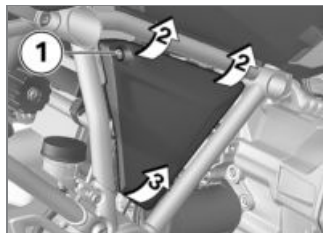
▶ 電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、接続を外したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

外したバッテリーを充電する

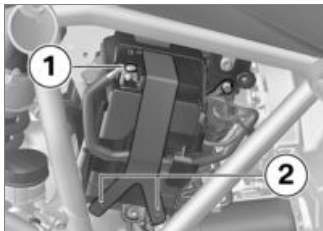
- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

▶ 長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

バッテリーを脱着する



- イグニッションを OFF にします。
 - ボルト **1** を取り外します。
 - バッテリーカバー上部を **2** の位置のところで、少し引っ張り出します。
 - バッテリーカバーおよびサポートを損傷しないようにするため、バッテリーカバーを **3** の位置のところで上方へ取り外します。
- 盗難警報装置^{OE} 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀



- バッテリーマイナス配線 **1** およびラバーバンド **2** を外します。



- ホールドプレートのポジション **1** を外側へ引いてから、上方へ取り外します。

- バッテリーをわずかに持ち上げて、プラス極に手が届くようになるまで止め具から取り外します。



- バッテリープラス配線 **1** を外し、バッテリーを引き出します。

▶ 12V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合（ジャンプスタートの場合など）、オルタネーターレギュレーター（電圧調整器）のヒューズが溶断するおそれがあります。◀

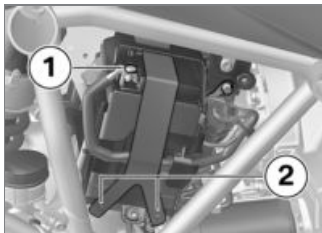


- バッテリープラス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーを止め具にスライドして入れます。

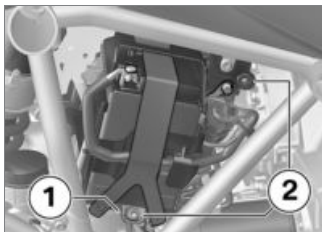


- ホールドプレートをまずホルダー **1** に組み込み、引き続き

ポジション **2** をバッテリーの下に押し込みます。



- バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーをラバーバンド **2** で固定します。



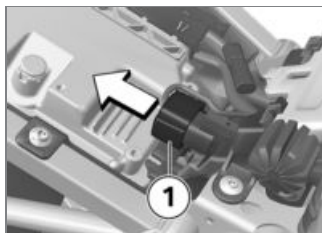
- バッテリーカバーをホルダー **1** に組み込み、ホルダー **2** に押し入れます。



- ボルト **1** を取り付けます。
- 時計を調整する(▶▶▶ 54)。
- 日付設定(▶▶▶ 54)。

ヒューズ

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 80)。
- コネクター **1** を外します。

⚠ 故障ヒューズのブリッジングにより、ショートの原因やそれによる火災の危険が生じます。

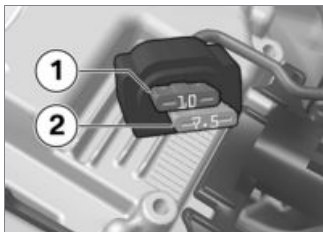
故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀

- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。

▶ ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

- コネクター **1** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶ 82)。

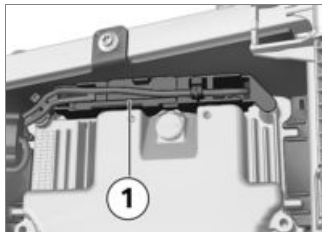
ヒューズ割当て



- 1** 10 A
メーターパネル
盗難警報装置 (DWA)
イグニッションロック
診断ソケット

- 2** 7.5 A
左コンビネーションスイッチ
タイヤ空気圧コントロール (RDC)

オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) 用ヒューズ



- 1** 50 A
オルタネーターレギュレーター (電圧調整器)

アクセサリ

一般的な情報	140
電源ソケット	140
ナビゲーションシステム	141
ケース	146
トップケース	149

一般的な情報



BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW モーターサイクルにおいて安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、この保証は付与されません。点検にあたっては、常にBMW モーターサイクルにおけるすべての使用条件を考慮に入れるということとはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。必ず、BMW が BMW モーターサイクル用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施されています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきまして

は、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

BMW Motorrad のすべてのアクセサリをインターネットで紹介しています：["www.bmw-motorrad.com"](http://www.bmw-motorrad.com)。

電源ソケット

電装系機器の接続

電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

- 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

- 電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
- 車両電装システムの負荷解除のため、電源ソケットは、イグニッションを OFF にしてから 15 分以内に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。これらの場合、イグニッション OFF 後にしばらく

く経ってから電源ソケットが OFF に切り替わります。

- バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
- テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。

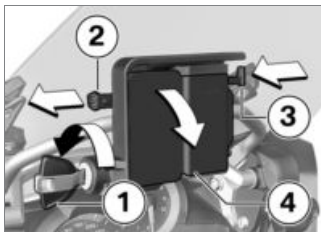
ナビゲーションシステム

- ナビゲーションシステム用取り付けキット^{OE} 装備

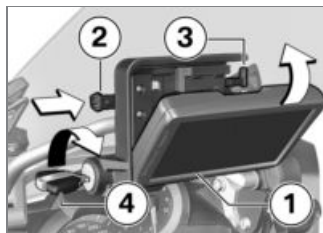
ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける

ナビゲーション取り付けキットは、BMW Motorrad Navigator IV および BMW Motorrad Navigator V に適合しています。◀

▶ Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。◀



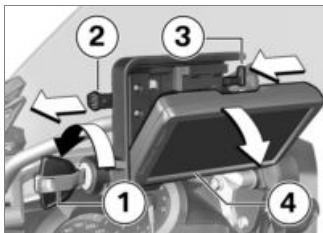
- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を左方向へ引きま
- す。
- ロック **3** を圧入します。
- » Mount Cradle (マウントクレドル) はロック解除されており、カバー **4** を回転させて前方へ取り外すことができます。



- ナビゲーションユニット **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
- » ナビゲーションユニットが音をたててはまります。
- ヒューズ **2** を完全に右方向へずらします。
- » ロック **3** がロックしています。
- 車両キー **4** を時計回りに回します。
- » ナビゲーションユニットはロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

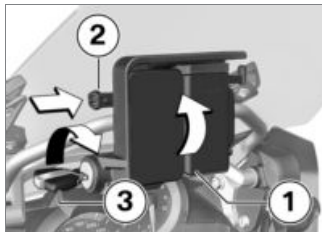
ナビゲーションユニットを取り外し、カバーを取り付ける

! 塵埃や汚れによりMount Cradleの接触部が損傷することがあります。走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を完全に**左**方向へ引きます。
- ◃ ロック **3** はロック解除されています。
- ロック **3** を完全に**左**方向へずらします。

- ◃ ナビゲーションユニット **4** がロック解除されます。
- ナビゲーションユニット **4** を傾けながら下方向へ取り外します。



- カバー **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて上方向へ動かします。
- ◃ カバーが音をたててはまります。
- ヒューズ **2** を**右**方向へずらします。
- 車両キー **3** を時計回りに回します。
- ◃ カバー **1** はロックされています。

ナビゲーションシステムを操作する

◃ 以下の説明はNavigator Vに関するものです。Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。◀

◃ BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

BMW Motorrad Navigator が取り付けられている場合、いくつかの機能はMulti-Controller を使用してハンドルバーから直接操作することができます。



Multi-Controller の操作は、6 つの動作でできます：

- 上下に回す。
- 左右に短押しします。
- 左右に長押しします。

Multi-Controller を回すと、コンパスページおよびMedioplayer ページで、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニューで、Multi-Controller を回すことにより、メニュー項目を選択します。

Multi-Controller を左右に短押しすると、Navigator のメインページが切り替わります：

- 地図表示部
- コンパス
- Medioplayer
- BMW スペシャルメニュー
- ご使用のモーターサイクルのページ

Multi-Controller を長押しするのは、Navigator ディスプレイで特定の機能を作動させるのと同じです。この機能は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。



この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。



この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部

- 上方向へ回す：地図表示部を拡大する (Zoom in)。
- 下方向へ回す：地図表示部を縮小する (Zoom out)。

コンパスのページ

- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニュー

- 前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- ウェイポイント：現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム：自宅住所へのナビゲーションを開始します (自宅住所が設定されていない場合にはグレー表示になっています)。
- ミュート：自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON

(OFF: ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。

- 表示を OFF にする: ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する: ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します (接続されている電話があるときにのみ作動)。
- 迂回: 迂回機能を ON にします (アクティブになっているルートがあるときにのみ作動)。
- ジャンプ: 次のウェイポイントをジャンプします (そのルートにウェイポイントがある場合にのみ作動)。

ご使用のモーターサイクル

- 回す: 表示されているデータ数を変更します。

- ディスプレイ上のデータ欄を軽く押すことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。

▶ Mediaplayer の機能は、Bluetooth 機器 (A2DP 規格準拠) の使用時にのみ利用可能です (BMW Motorrad コミュニケーションシステムなど)。◀

Mediaplayer

- 左方向へ長押しする: 前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする: 次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されている BMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

警告メッセージおよび指示メッセージ




モーターサイクルの警告および指示表示は、対応するマーク **1** と共に、地図表示部の左上に表示されます。

▶ BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。◀

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。

 すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。◀

特別機能

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なる箇所が出ています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示の設定は使用できません。残量警告は車両から Navigator に伝送されるからです。メッセージがアクティブになっている場合には、メッセージの上をクリックすることによ

り、次のガソリンスタンドが表示されます。

クロックディスプレイと日付

クロックディスプレイと日付は、Navigator からモーターサイクルに伝送されます。このデータのメーターパネルへの伝送は、メーターパネルのSETUP メニューで作動します。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V では、4 桁の PIN により、第三者による操作から保護することができます (Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションが ON の間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigator がこの車両の車両識別番号を保存します。

車両識別番号は 5 つまで登録することができます。

これらの車両の 1 台でイグニッションを ON にすることにより、Navigator が ON になります。これで PIN 入力は必要なくなります。

Navigator が ON の状態で車両から取り外されると、安全上の理由から PIN の確認が開始されません。

画面の輝度

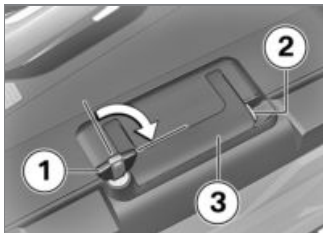
取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。マニュアル入力は必要ありません。

自動設定は、ご希望に応じて Navigator 内のディスプレイ設定で OFF にすることができます。

ケース

– ケース^{OA} 装備

ケースを開きます



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **1** (黄) を押し下げながら、ケースカバーを開きます。

ケース容量を調整する

- ケースを開き、空にします。



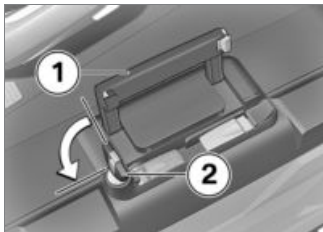
- スイングレバー **1** を上側終端位置にかみ合わせ、小さい方の

ボリュームになるようにします。

- 大きい方の容量にするため、スイングレバー **1** を下側終端位置にかみ合わせます。
- ケースを閉じます。

ケースを閉じる

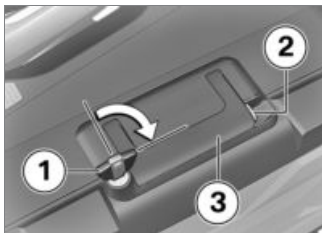
- キーをケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。
- ケースカバーを閉じます。
- » カバーがはまる音が聞こえます。



! ケースロックが進行方向に対して縦になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷することがあります。キャリングハンドルを閉じる前に、ケースロックが進行方向に対して直角になっているか確認してください。◀

- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

ケースを取り外します



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。

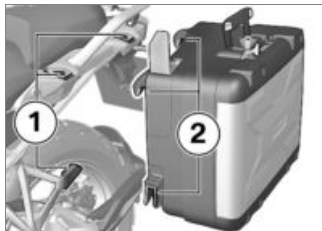


- ロック解除レバー (赤) **1** を引き上げます。
» ロックフラップ **2** が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。
- キャリングハンドルを持って、ケースをホルダーから外します。

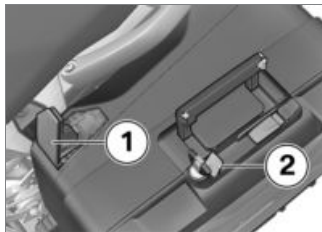
ケースを取り付けます



- ロック解除レバー（赤）**1**を引き上げます。
- » ロックフラップ**2**が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。

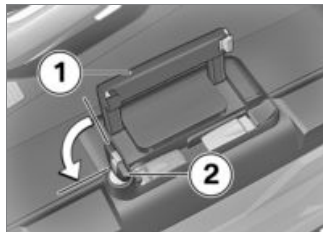


- ケースを上から止め具**1**および**2**に組み込みます。



- ロックフラップ**1**をストップ位置まで下方向へ押し下します。

- 引き続きロックフラップおよびロック解除レバー**2**（赤）を同時に押し下げます。
- » ロックフラップがロックします。



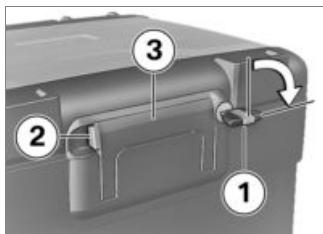
- !** ケースロックが進行方向に対して縦になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷することがあります。キャリングハンドルを閉じる前に、ケースロックが進行方向に対して直角になっているか確認してください。◀

- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

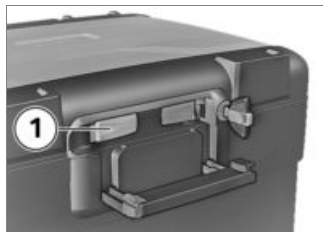
トップケース

ー トップケース^{OA} 装備

トップケースを開きます



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **1** (黄) を前方へ押しながら、トップケースを開きます。

トップケース容量を調整する

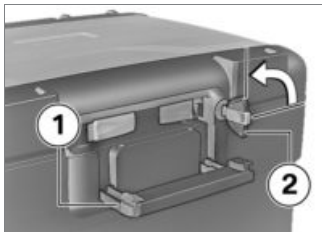
- トップケースを開き、空にします。



- 大きい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を前側終端位置にかみ合わせます。
- 小さい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を後ろ側終端位置にかみ合わせます。
- トップケースを閉じます。

トップケースを閉じる

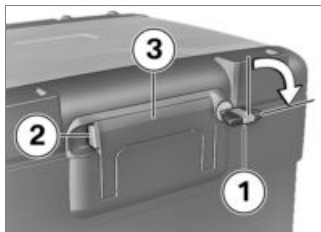
- トップケースリッドを強く押して閉じます。



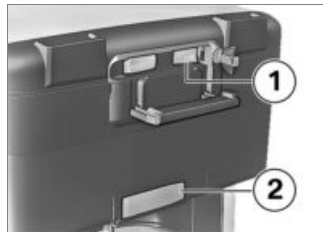
! トップケースロックの向きが水平になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷するおそれがあります。キャリングハンドルを閉じる前に、トップケースロックの向きが垂直になっているか確認してください。◀

- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- » キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

トップケースを取り外す

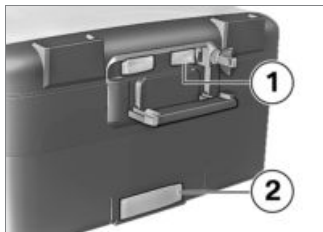


- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。

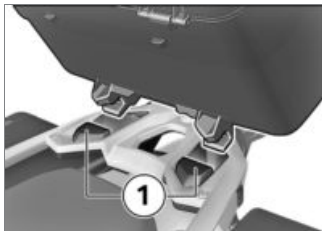


- レバー **1** (赤) を後方へ引きま
- す。
- » ロックフラップ **2** が飛び出
- します。
- ロックフラップを完全に開き
- ます。
- キャリングハンドルを持って、
- トップケースをホルダーから
- 外します。

トップケースを取り付ける



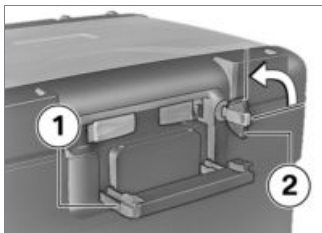
- レバー **1** (赤) を後方へ引きま
す。
- » ロックフラップ **2** が飛び出
します。
- ロックフラップを完全に開きま
す。



- トップケースをトップケースリ
テーニングプレートの前側ホル
ダー **1** に掛けます。
- トップケース後部をトップケー
スホールドプレートの上に押し
付けます。



- ロックフラップ **1** をストッ
プ位置まで前方向へ押しま
す。
- 引き続きロックフラップおよび
ロック解除レバー **2** (赤) を同
時に前方へ押しします。
- » ロックフラップがロックしま
す。



! トップケースロックの向きが水平になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷するおそれがあります。

キャリングハンドルを閉じる前に、トップケースロックの向きが垂直になっているか確認してください。◀


- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- » キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

お手入れ

ケア用品.....	154
洗車	154
損傷しやすい車両部品のお手 入れ	155
塗装のお手入れ.....	156
モーターサイクルの長期保管.....	156
保護コーティング	156
再使用	156

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products (BMW ケア製品) は、原料の点検確認および研究機関における製品のテストや試用点検が行われており、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。

 不適切なクリーナー / ケア製品を使用すると、モーターサイクルの部品が損傷するおそれがあります。ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを清掃に使用しないでください。◀


洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。


特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。


 モーターサイクルを水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行したりすると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状態になり、ブレーキの効きが遅くなるおそれがあります。

ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態になるま


では、早めにブレーキングしてください。◀

 温水を使用すると塩の化学反応が強まります。

散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀

 高圧スチームクリーナーの高い水圧により、シールや油圧ブレーキシステム、電装システム、シートが損傷するおそれがあります。

スチームクリーナーや高圧ジェットは使用しないでください。◀

 アルミニウム製ケースおよびトップケースには表面被覆がありません。美しい外観を保つには、以下のお手入れを行ってください：

散布用塩や腐食性の付着物は、走行終了後ただちに、冷水を使用して取り除いてください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック



プラスチック部品の清掃に不適切なクリーナーを使用すると、表面が損傷するおそれがあります。

プラスチック部品を清掃する際には、アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。

鉄粉取りスポンジまたは表面の堅いスポンジを使用した場合も、表面が損傷するおそれがあります。◀

フェアリング部

フェアリング部は、水とBMW プラスチックケア製品とを使用して清掃してください。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。



硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀



水とスポンジのみを使用した洗浄。



化学洗剤は使用しないでください。

クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。

例えば、水圧をわずかにして、ホースを使用してください。



ラジエターのフィンは、簡単に曲がります。

ラジエターを清掃をする際には、フィンを曲げないように注意してください。◀

ラバー部品

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。



ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用すると、損傷するおそれがあります。

シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

とくに浸食性の高い物質（例えばこぼれた燃料、オイル、グリース、ブレーキフルード、鳥のふんなど）は、塗装の変化や変色が生じるおそれがあるため、すぐに取り除く必要があります。BMW Motorrad は、除去用にBMW ポリッシャーまたはBMW ペイントクリーナーをお勧めします。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、

タール系の汚れには、BMW ターリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

モーターサイクルの長期保管

- モーターサイクルが満タンになるまで燃料を供給します。
- モーターサイクルを洗浄します。
- バッテリーを取り外す(▶ 135)。
- ブレーキレバーおよびクラッチレバー、センタースタンドベアリングとサイドサポートベアリングに対応の潤滑油を吹き付けます。
- 金属部品やクロームめっき部品に中性のグリース（ワセリン）を塗布する。
- 両ホイールに負荷がかからない状態にして、モーターサイクルを乾燥した場所に停止しま

す (BMW Motorrad のフロントホイールスタンドおよびリヤホイールスタンドの使用を推奨)。

保護コーティング

水滴が水玉にならなくなったら、塗装の防錆処理をしなければなりません。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングには、BMW ワックス、またはカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤をお勧めします。

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- 充電済みのバッテリーを取り付けます。
- 始動前に、チェックリストを確認します。

テクニカルデータ

トラブルシューティング	158
ネジ止め部	159
エンジン	161
燃料	162
エンジンオイル	163
クラッチ	164
ギヤボックス	164
リヤホイールドライブ	165
サスペンション	165
ブレーキ	167
ホイールとタイヤ	168
電装システム	169
フレーム	170
盗難警報装置	171
寸法	171

重量	172
性能	172

トラブルシューティング

エンジンが始動しない / 始動しにくい。

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	サイドスタンドを格納します。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油手順 (▶▶▶▶ 94)。
バッテリーが空になっている	接続しているバッテリーを充電する (▶▶▶▶ 134)。

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
テレスコピックフォーク内アクスルシャフト		
M12 x 20	30 Nm	
テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト		
M8 x 35	19 Nm	
テレスコピックフォークのブレーキキャリパー		
M10 x 65	38 Nm	
リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	対角の順に締め付けます	
	60 Nm	
ホイール回転数センサーとフォーク		
M6 x 16 マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤（中強度）使用	8 Nm	

ミラーアーム		数値	有効
ミラー (ロックナット) とアダプター			
左ネジ、M10 x 1.25		22 Nm	
アダプターとクランプ台			
M10 x 14 - 4.8		25 Nm	
ハンドルバー		数値	有効
クランプ台 (ハンドルバークランプ) とフォークブリッジ			
M8 x 35		進行方向の前のブロックで締め付けます	
		19 Nm	

エンジン

エンジン番号位置	クランクハウジング下部右側、スターター下部
エンジン型式	空冷 / 水冷 2 気筒 4 ストロークボクサーエンジン、スパーギヤ駆動 DOHC、バランサーシャフト装備
排気量	1170 cm ³
シリンダーボア	101 mm
ピストンストローク	73 mm
圧縮比	12.5:1
最高出力	92 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
－ 低出力仕様 ^{OE} 装備	79 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
最大トルク	125 Nm、エンジン回転数: 6500 min ⁻¹
－ 低出力仕様 ^{OE} 装備	122 Nm、エンジン回転数: 5250 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドル回転数	1150 min ⁻¹ 、エンジン作動温度時

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 10%エタノール、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。エンジンに低燃料品質 91 RON を使用する国などでは、それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。) (最大 10%エタノール、E10) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 20 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
排ガス基準	EU 3

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40, API SL / JASO MA2、添加剤（例えばモリブデンベースのもの）は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです。BMW Motorrad は BMW Motorrad オイルの使用を推奨しています。このオイルは BMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。
エンジンオイル補充量	max 0.95 l、MIN とMAX 間の偏差

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

クラッチ

クラッチの仕様	マルチプレート湿式クラッチ、アンチホッピング
---------	------------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式ヘリカルギア 6 速マニュアルトランスミッション
ギヤ比	1.000 (60:60 丁)、一次減速比 1.650 (33:20 丁)、ギヤボックスインプットギヤ比 2.438 (39:16 丁)、1 速 1.714 (36:21 丁)、2 速 1.296 (35:27 丁)、3 速 1.059 (36:34 丁)、4 速 0.943 (33:35 丁)、5 速 0.848 (28:33 丁)、6 速 1.061 (35:33 丁)、トランスミッションアウトプットギヤ比

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付きアルミキャストシングルスイングアーム
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.91 (32/11 ノッチ)

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	BMW テレレバー、上部フォークブリッジはアンチダイブ機能付き、トレーリングアームをモーターおよびテレスコピックフォークに設置、センタースプリングストラットをトレーリングアームおよびフレームに支持
フロントホイールサスペンションの構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット
- Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー
スプリングトラベル (フロント)	190 mm、ホイールで
- ローダウンサスペンション ^{OE} 装備	160 mm、ホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付きアルミキャストシングルスイングアーム
リヤサスペンション型式	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
- Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー、電気調整式スプリングプリロード
スプリングトラベル (リヤホイール)	200 mm
- ローダウンサスペンション ^{OE} 装備	170 mm

ブレーキ

フロントブレーキ型式	ラジアルマウント 4 ピストンモノブロックキャリパーを装着した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント
フロントブレーキパッドの素材	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	min 4 mm、 摩耗限度
リアブレーキ型式	2 ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクは固定式。
リアブレーキパッドの素材	有機素材
リアブレーキディスク厚	min 4.5 mm、 摩耗限度

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の承認タイヤ一覧につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
フロントホイール	
フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
－クロススポークホイール ^{OE} 装備	クロススポークホイール
フロントホイールリムサイズ	3.0 インチ x19 インチ
タイヤサイズ (フロント)	120/70 - 19
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g
リヤホイール	
リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
－クロススポークホイール ^{OE} 装備	クロススポークホイール
リヤホイールリムサイズ	4.50 インチ x17 インチ
タイヤサイズ (リヤ)	170/60 - 17
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g
タイヤ充填圧	
タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装システム

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット（合計）
ヒューズホルダー 1	10 A、スロット 1: メーターパネル、盗難防止装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、診断ソケット 7.5 A、スロット 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ空気圧モニター (RDC)
ヒューズホルダー	50 A、ヒューズ 1: オルタネーターレギュレーター（電圧調整器）

バッテリー

バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah

スパークプラグ

スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8D-J
スパークプラグの電極ギャップ	0.8±0.1 mm、新品時の状態 max 1.0 mm、摩耗限度

バルブ

ハイビーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	LED
ロービームのバルブ	H7 / 12 V / 55 W

- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	LED
ポジションライト / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	LED
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED
フロントウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
- LED ウインカー ^{OE} 装備	LED
リヤウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
- LED ウインカー ^{OE} 装備	LED

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとドライブユニット、スチールパイプリヤフレーム
型式プレートの位置	右フロントフレーム (スプリングストラットの横)
車両識別番号の位置	右フロントフレームとステアリングヘッド

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2205 mm、スプラッシュガード上
全高	1430...1490 mm、ウインドシールドを含む (DIN 空車時)
- ローダウンサスペンション ^{OE} 装備	1405...1465 mm、ウインドシールド含む (ローポジション) (空車時)
全幅	955 mm、ミラー含む
フロントシート高さ	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ローフロントシート ^{OE} 装備	820...840 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ローダウンサスペンション ^{OE} 装備	800...820 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
ライダーステップアーチレングス	1870...1910 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ローフロントシート ^{OE} 装備	1820...1860 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ローダウンサスペンション ^{OE} 装備	1790...1830 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

重量

車両重量	238 kg、車両重量（走行可能状態、燃料満載時の90 %、オプション非装備）
許容総重量	450 kg
最大積載荷重	212 kg

性能

登り坂における発進力（許容総重量）	20 %
最高速度	>200 km/h

サービス

リサイクリング	174
BMW Motorrad サービス	175
BMW Motorrad モバイルサー ビス	176
メンテナンス作業	176
点検記録	177
一般整備記録	182

リサイクルング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは (社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

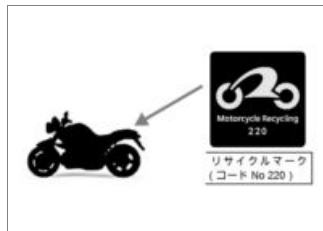
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク (3 cm × 3 cm) が車体 (シートの下) に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、およ

び指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています。

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分(土日祝日、年末年始等を除く)
- ホームページ <http://www.jarc.or.jp/>

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界100ヶ国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および実際の知識、新たな知見、ノウハウを備えています。

最寄りのBMW Motorrad ディーラーにつきましては、www.bmw-motorrad.jp をご覧ください。



適切でないメンテナンスや修理作業がなされた場合、損傷や安全にかかわる危険が発生します。

BMW Motorrad は、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。また、保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備さ

れていたことが必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます（モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など）。

エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検 (PDI)

BMW 納車前点検 (PDI) は、納車前に BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。

BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。

1 年間にかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走

行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、約 1 ヶ月後の登録日または 1000 km の登録距離になる前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

点検記録

BMW 納車前点検 (PDI)

実施済

日付 _____

スタンプ、署名

BMW 初回点検

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス
期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

一般整備記録

この表は、メンテナンスおよび修理作業、アクセサリーの取り付け、特別キャンペーンの実施についての証明となります。

実施した作業	距離 (km)	日付

付録

検査済み証 186

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada

Product name: BMW Keyless Ride ID Device
FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

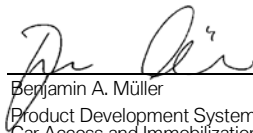
BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment- Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1.9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW;
Part 1: Technical characteristics and test methods.
Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking: **CE**

Velbert, October 15th, 2013



Benjamin A. Müller
Product Development Systems
Car Access and Immobilization – Electronics
Huf Hülbeck & Fürst GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551 Velbert

Certification Tire Pressure Control (TPC)

FCC ID: MRXBC54MA4
IC: 2546A-BC54MA4

FCC ID: MRXBC5A4
IC: 2546A-BC5A4

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

A

ABS

- 技術情報, 102
- 警告表示, 35
- 自己診断, 88
- 操作する, 64
- 操作部, 15

ASC

- 技術情報, 105
- 警告表示, 36
- 自己診断, 88
- 操作する, 65
- 操作部, 15

D

DWA

- 仕様 (諸元), 171
- 表示灯, 18

E

ESA

- 操作する, 74
- 操作部, 15

K

Keyless Ride

- イグニッションを OFF にする, 48
- イグニッションを ON にする, 47
- 警告表示, 30, 31
- ステアリングロックをロックする, 47
- タンクキャップをロック解除する, 95
- 電子式エンジン始動ロックシステムEWS, 49
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失, 49

P

Pre-Ride-Check, 87

R

RDC

- 技術情報, 107
- 警告表示, 33
- ホイールリムのラベル, 119

Rider's Manual

車両における位置, 14

あ

アクセサリ

- 一般的な情報, 140
- 安全に関する注意事項
- ブレーキ, 90
- ライディングにあたって, 84

い

イグニッション

- OFF にする, 45
- ON にする, 45
- イグニッションキルスイッチ, 17
- 操作する, 59
- インジケーター / 警告灯, 18
- 全体図, 20

う

ウインカー

- 操作する, 63
- 操作部, 15
- 操作部 (右側), 17
- ウインドシールド
- 調整エレメント, 13
- 調整する, 79

え

エアクリナー
アクセサリを交換する, 131
車両内の位置, 13

エンジン

エンジンコントロール警告表示, 37
エンジンマネジメントシステム警告表示, 31
始動, 87
仕様 (諸元), 161

エンジンオイル

エンジンオイルレベル警告表示, 38
オイルレベル注意, 39
充填レベルを点検する, 111
仕様 (諸元), 163
注入口, 13
フルードレベル表示, 13
補給, 112

エンジン回転数表示, 18

エンジン始動ロック

警告表示, 30
スペアキー, 46, 49

お

オドメーターとトリップメーター
リセットする, 52
オフロード走行, 92

か

外気温度
表示, 38
路面凍結警告, 30
型式プレート
車両における位置, 13

き

キー, 44, 46
記号と意味, 6
ギヤチェンジ
シフトアップ推奨, 41
ギヤボックス
仕様 (諸元), 164
給油, 94, 95

く

クーラント
異常高温用警告表示, 31
充填レベルを点検する, 116
補充する, 116

クラッチ

機能を点検する, 118
仕様 (諸元), 164
ハンドルレバーを調整する, 76
グリップヒーター
操作する, 78
操作部, 17
クルーズコントロール
操作する, 70

け

警告灯, 18
全体図, 20
警告表示
ABS, 35
ASC, 36
RDC, 33
イモビライザー, 30
エンジンオイルレベル, 38
エンジンコントロール, 37
エンジン電装, 31
全体図, 24
盗難警報装置, 33
バッテリー充電電圧, 38
バルブの不具合, 32

- 表示, 25
- フューエルリザーブ容量, 37
- 冷却水温警告灯, 31
- 路面凍結警告, 30
- 警告表示一覧, 26
- ケース, 146
- こ**
- コンビネーションスイッチ
 - 左側面, 15
 - 右側面, 17
- さ**
- サービス, 175
- サービス表示, 40
- サスペンション
 - 仕様 (諸元), 165
- し**
- シート
 - シート高を調整する, 81
 - 高さ調整の位置, 14
 - 脱着する, 80
 - ロッキングハンドル, 11
- 始動, 87
- 操作部, 17
- 始動補助, 132
- シフトアシスト
 - 技術情報, 101
 - 走行, 90
- 車両
 - 再使用する, 156
- 車両識別番号
 - 車両における位置, 13
- 重量
 - 仕様 (諸元), 172
 - 積載荷重一覧, 14
- 仕様 (諸元)
 - エンジン, 161
 - エンジンオイル, 163
 - 規格, 7
 - ギヤボックス, 164
 - クラッチ, 164
 - サスペンション, 165
 - 重量, 172
 - スパークプラグ, 169
 - 寸法, 171
 - 電装システム, 169
 - 盗難警報装置, 171
- 燃料, 162
- バッテリー, 169
- バルブ, 169
- ブレーキ, 167
- フレーム, 170
- ホイールとタイヤ, 168
- リヤホイールドライブ, 165
- ショックアブソーバー
 - 調整エレメント (リヤ), 11
 - 調整する, 73
- す**
- ステアリングロック
 - ロックする, 44
- スパークプラグ
 - 仕様 (諸元), 169
- スピードメーター, 18
- スプリングプリロード
 - 調整エレメント (リヤ), 13
 - 調整する, 72
- 寸法
 - 仕様 (諸元), 171

せ

全体図

- 警告アイコン, 24
- 警告灯 / インジケーター, 20
- シート下, 14
- 左コンビネーションスイッチ, 15
- 左側面図, 11
- マルチファンクションディスプレイ, 22
- 右コンビネーションスイッチ, 17
- 右側面図, 13
- メーターパネル, 18

そ

- 走行モード
- 技術情報, 100
- 操作部, 17
- 調整する, 66
- 装備, 7

た

- タイヤ
- 最高速度, 85
- 充填圧, 168

- 充填圧表, 14
- 仕様 (諸元), 168
- 推奨, 119
- タイヤ空気圧を点検する, 77
- トレッドの溝の深さを点検する, 118
- 慣らし走行, 89
- タイヤ空気圧コントロール (RDC)
- 表示, 40

ち

- チェックリスト, 86
- 駐車, 91

つ

- ツールキット
- 車両における位置, 14
- 内容, 110

て

- デイライト
- オートマチックデイライト, 63
- 車両における位置, 11
- 手動デイライト, 62
- 点検記録, 177

- 電源ソケット
- 車両における位置, 13
- 使用上の注意, 140
- 電装システム
- 仕様 (諸元), 169

と

- 盗難警報装置
- 警告表示, 33
- 操作する, 57
- 時計
- 調整する, 54
- トップケース
- 操作する, 149
- トラブルシューティング, 158
- トルク, 159

な

- 慣らし走行, 89

に

- 荷物
- 積載に関する注意, 84

ね

燃料

- 給油する, 94, 95
- 仕様 (諸元), 162
- 注入口, 11
- リザーブ容量, 39

は

- パーキングライト, 61
- ハザードランプ
 - 操作する, 64
 - 操作部, 15, 17
- バッテリー
 - 仕様 (諸元), 169
 - 接続しているバッテリーを充電する, 134
 - 取り付ける, 135
 - 取り外す, 135
 - 外したバッテリーを充電する, 135
 - バッテリー充電電圧警告表示, 38
 - メンテナンスに関する注意, 134

バルブ

- LED テールライトを交換する, 130
- LED ヘッドライトの交換, 131
- LED 補助ヘッドライトを交換する, 131
- 仕様 (諸元), 169
- ハイビーム用バルブを交換する, 126
- バルブの不具合に関する警告表示, 32
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する, 129
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する, 128
- ロービーム用バルブを交換する, 126
- ハンドルバー
 - 調整する, 78
- ひゅうズ
 - 交換する, 137
 - 仕様 (諸元), 169

ふ

- フォロミーホームライト, 45
- フューエルリザーブ容量
 - 警告表示, 37
- ブレーキ
 - 安全に関する注意事項, 90
 - 機能を点検する, 112
 - 仕様 (諸元), 167
 - ハンドルレバーを調整する, 77
- ブレーキパッド
 - 慣らし走行, 89
 - フロントを点検する, 112
 - リヤを点検する, 113
- ブレーキフルード
 - フロント充填レベルを点検する, 114
 - フロントリザーバータンク, 13
 - リヤ充填レベルを点検する, 115
 - リヤリザーバータンク, 13
- フレーム
 - 仕様 (諸元), 170
- フロントホイールスタンド
 - 取り付ける, 124

へ

- 平均値
リセットする, 52
- ヘッドライト
光軸, 60
光軸の調整, 11

ほ

- ホイール
サイズ変更, 119
仕様 (諸元), 168
スポークを点検する, 118
フロントホイールを取り付ける, 121
フロントホイールを取り外す, 120
ホイールリムを点検する, 118
リヤホイールを取り付ける, 124
- ホーン, 15
- 本書の記述について, 7

ま

- マルチファンクションディスプレイ, 18
全体図, 22
操作する, 51
操作部, 15
表示を選択する, 51

み

- ミラー
調整する, 79

め

- メンテナンス
一般的な情報, 110
- メンテナンススケジュール, 176
- メーターパネル
周囲輝度センサー, 18
全体図, 18

も

- モーターサイクル
お手入れ, 153
固定する, 96
清掃する, 153

駐車, 91

- 長期保管, 156
- モバイルサービス, 176

ら

- ライト
オートマチックデイライト, 63
手動デイライト, 62
操作部, 15
パーキングライト, 61
ハイビームヘッドライトを操作する, 61
パッシングライトを操作する, 61
補助ヘッドライトを操作する, 61
ロービーム, 61

り

- リサイクリング, 174
- リモートコントロール
バッテリーを交換する, 50
- リヤホイールドライブ
仕様 (諸元), 165

ろ

ローダウンサスペンション
制限, 84

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany。

©2014 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

燃料補給用データ：

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 10%エタノール、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
-------------	--

燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。エンジンに低燃料品質 91 RON を使用する国などでは、それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。) (最大 10%エタノール、E10) 91 ROZ/RON 87 AKI
----------	--

フューエル容量	約 20 l
---------	--------

フューエルリザーブ容量	約 4 l
-------------	-------

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
---------------	----------------

タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時
-------------	----------------

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

